

(1) 単位互換事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

単位互換制度はこれまで 25 年にわたり加盟校が形成してきた京都ワンキャンパスの中核的な取組である。学生は加盟校が提供する 400 科目以上から、自身の関心・意欲にあわせて受講でき、大学の枠を超えた多様性のある「学び合い」ができる制度である。国内でもこの規模で運営される単位互換は京都以外になく、京都ならではの高い教育力ある環境の維持・発展は財団の使命である。近年、教育の質保証が求められる中、加盟校ではカリキュラムの充実が図られる一方、他大学の科目履修が時間的、制度的に難しい状況となり受講者数は減少している。このため、国において単位互換を促進する形で大学設置基準の解釈を見直しされたことを背景に、以下のように改革を進める。

1. 大学設置基準の見直しに伴う事業の改善

- (1) 見直された運用方針に伴う協定校における今後の単位互換制度実施に向けた周知・助言
- (2) 協定校における学内規程及び関連ポリシー等の整備・点検の要請

2. 京都ならではの特色ある科目の展開と加盟校・学生の参加の促進

- (1) 「京都世界遺産 PBL 科目」「京都ミュージアム PBL 科目」における協定校及び受入れ先との連携促進と安定運営
- (2) 協定校との連携促進による特色ある科目の拡充と広報強化

3. グローバル科目の開設及び求められる e-ラーニングの仕組みづくり

- (1) 大学の国際化に即したグローバル科目開設に向けた検討
- (2) 新たな IT 技術やデジタルコンテンツを活用した e-ラーニングの仕組みづくりの検討

4. リカレント教育の推進 「大学のまち京都」の人材育成力の向上

- (1) 加盟校等におけるリカレント教育の促進、新たなプログラムの開発に資する事業
- (2) 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座、教職等資格取得科目の充実

<実績>

1. 2020 年度単位互換科目への出願状況他について

(1) 単位互換への提供科目数について

2020 年度前期単位互換提供科目数は、2019 年度から 14 科目減の 401 科目となり、過年度からの減少傾向は続いている。これは、各大学におけるカリキュラムポリシーに基づく科目の充実や単位互換履修の条件設定等の影響、履修登録期間の厳格化、近年に見られた新学部学科認可審査における包括的な単位互換科目への指導の影響による受講可能な学生数の母数減少があるとみられる。その上今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により計 119 科目において不開講あるいは提供取りやめが発生した。

2019 年度に国において単位互換を促進する形で大学設置基準の解釈が見直されたことを踏まえ、引き続き、単位互換・京カレッジ事務担当者会議等を中心に丁寧な周知・助言に取り組み、各大学における学内規程及び関連ポリシー整備等につなげていくことが必要である。

なお、2020 年度の後期募集科目数は 97 科目で、2019 年度の 136 科目に比べ大きく減少した。

(2) 単位互換科目への出願状況

前期出願期間(3/19～4/10)の出願者数は延べ 844 名であった(前年度比 356 名減(▲29.6%))。前年度と比べ減少者数が多かった大学は主に立命館大学-214 名、京都女子大学-60 名、京都産業大学-31 名であり、一方、増加した大学は、龍谷大学 15 名、京都先端科学大学 7 名など一部にとどまった。受入者数は延べ 442 名(前年度比 628 名減(▲58.6%))。出願者数に対する受入者数の割合は 52.3%であった(前年度の割合は 89.1%)。

大きく減少した要因は主に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの大学において一定期間の休校やオンライン授業への変更措置などが講じられ、単位互換においても送出および受入が中止ある

いは大幅縮小されたことであると考えられる。

また、後期出願期間(9/4～18)の出願者数は延べ267名であった(前年度比62名増(+30.2%))。出願者数が多かったのは主に京都先端科学大学104名(前年度比45名増)、京都産業大学73名(前年度比17名増)、龍谷大学65名(前年度比11名増)。受入者数は延べ245名(前年度比44名増(+21.8%))であった。

2020年度単位互換提供科目数・出願者数・受入者数・送出者数 ()内は2019年度数

協定大学数	提供大学数		提供科目数	延べ出願者数	延べ出願者数 前年度比	延べ履修許可 者数	延べ履修許可 者数前年度比
大学34 短期大学 11 合計45※1	大学31、短期大学7、合計38 (大学31、短期大学5、合計36)	前期	401 (415)	844 (1,200)	-356 (-562)	442 (1,070)	-628 (-563)
		後期	97※2 (136)	267 (205)	62 (-17)	245 (201)	44 (-8)
		合計	401	1,111	-294	687	-584

※1 短期大学部を併設しているところはそれぞれを別カウントした。

※2 後期科目数については前期で科目数を確定し後期は其中で再募集をした。

(3) 単位互換講義の実施上の特記事項

新型コロナウイルスの影響により、多くの前期科目において急遽オンライン形式が採用されたとみられる。受講生に対して行った前期授業アンケートの集計結果は教育事業企画検討委員会において報告した。1/16～2/16の期間において、後期授業アンケートを実施した。

(4) 2021年度提供科目について

提供科目数は338科目を予定しており、2020年度当初の提供科目数と比較すると63科目の減少となっているが、2020年度の開講実績数282科目より56科目上回っている。オンラインのみ科目も42科目が提供されており、オンラインの特色を活かした科目も多く提供されている。

2. 2020年度京都世界遺産PBL科目の履修登録・科目実施状況

(1) 履修登録状況

「京都世界遺産PBL科目」は2015年度に6大学・6世界遺産による7科目からスタートし、6年目となる。2020年度は2019年度と同じ大学・世界遺産所有者によって7科目が提供されたが、うち1科目については新型コロナウイルスの感染拡大の影響により授業実施が困難となり、開講中止となったため6科目が開講されている。単位互換生数については、特に前期と通年科目について、学生が出願を敬遠したことや、複数の大学が学生の派遣を中止したことなどにより前年を下回り、全体の登録者数は85名(内、単位互換生16名)となった。

◇2020年度世界遺産PBL科目(7科目)履修登録者数

受入先 世界遺産	開設大学	科目名	担当教員	受講数、 ()内単互 生、下段定 員	2019年度
上賀茂神社	京都産業大学	京都の世界遺産PBL～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	吉野 秋二	閉講	6 (3)
醍醐寺	京都橘大学	遺産情報演習Ⅰ(b)～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	小林 裕子	8 (0)	2 (1)
清水寺	立命館大学	特殊講義Ⅰ「清水寺の△△の○○(良い点)を磨け!もしくは□□(困っている点)を救え!」	宗本 晋作	8 (1)	12 (6)
二条城	同志社大学	世界遺産PBL講座～価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	多田 実	8 (0)	18 (5)
清水寺	立命館大学	特殊講義(教養E)Ⅰ「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	14 (1)	22 (2)
比叡山延暦寺	京都文教大学	「お山」の魅力を探る・伝える	手嶋 英貴	25 (11)	11 (3)

仁和寺	京都光華女子大学	産官学連携プロジェクト：仁和寺で学ぶ京都の観光と文化財～京都世界遺産 PBL～	佐滝 剛弘 久世 奈欧	22 (3)	7 (1)
計				85 (16)	87* (22)

* 2019 年度の合計数：全開講科目（2020 年度不開講科目を含む）の受講者数

◇大学別履修登録状況（単位互換生の所属大学）

受入先	開設大学	科目開設大学	大谷	京都外国短期	京都産業	京都先端	同志社	佛教	龍谷	合計
上賀茂神社	京都産業大学	閉講	-	-	-	-	-	-	-	-
醍醐寺	京都橘大学	8								8
清水寺	立命館大学	7	1							8
二条城	同志社大学	8								8
清水寺	立命館大学	13							1	14
延暦寺	京都文教大学	14		1	3	4		1	2	25
仁和寺	京都光華女子	19			1		1		1	22
合 計		69	1	1	1		1		2	85

（２）科目実施状況

5 月 10(日)に予定していた全体講義については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止し、代替として 6 月初旬に講義動画を受講者に配信した。

インタビュートレーニングとプレゼンテーショントレーニングは外部講師：森吉弘氏（元 NHK アナウンサー）によりオンラインで実施し、担当教員を含め 35 名が参加した。

12 月 13 日（日）の成果報告会は各世界遺産の関係者を招き、対面とオンラインを組み合わせにより開催し、約 70 名が参加した。

（３）2021 年度実施に向けて

4 大学 4 世界遺産、5 科目で実施する予定である。なお、醍醐寺と京都橘大学クラスについては大学の担当体制の事由により 2021 年度のみ休止し、2022 年度から再開する。延暦寺クラスについては開設大学について調整を行っている。

募集広報を強化するため、特設ホームページをリニューアルする（3 月公開予定）。

3. 2020 年度京都ミュージアム PBL 科目【新規開講】の履修登録・科目実施状況

（１）履修登録状況

京都世界遺産 PBL と両輪となる京都ならではの新たな PBL 科目として 2020 年度より開講。初年度は 4 科目が提供され、すべての科目について開講予定である。履修登録者数は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、全体の登録者数は 52 名（内、単位互換生は 6 名）となった。

◇2020 年度京都ミュージアム PBL 科目（4 科目）履修登録者数

受入先	開設大学	科目名	担当教員	受講数、 () 内単 互生、 下段定員
京セラ美術館	大谷大学	フィールドワーク特殊演習（PBL）	宮崎 健司	18（3）
京都国際マンガ ミュージアム	京都精華大学	コラボレーション概論 A（京都ミュージアム企 画デザイン演習）	葉山 勉	14（1）
京都市動物園	同志社大学	ミュージアム PBL 科目：動物園の魅力探求と 環境教育イベント	服部 篤子	11（0）
京都鉄道博物館	立命館大学	特殊講義（総合）(BA)/京都鉄道博物館に地元 京都からの来館者を増やすにはどうしたらよい か、調査して提案しよう。	近藤 宏一	10（2）
計				53（6）

◇大学別履修登録状況（単位互換生の所属大学） ※ 後期募集

受入先世界遺産	開設大学	科目 開設 大学	京 都 教 育	同 志 社	龍 谷	合計
京セラ美術館	大谷大学	15	1		2	18
京都国際マンガ ミュージアム	京都精華大学	13		1		14
京都市動物園	同志社大学	11				11
京都鉄道博物館	立命館大学	8			2	10
合 計		47	1	1	4	53

（2）科目実施状況

5 月 24(日)に予定していた全体講義については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止し、代替として 7 月中旬に講義動画を受講者に配信した。

インタビュートレーニングとプレゼンテーショントレーニングは世界遺産 PBL 科目の受講者と合同で、外部講師：森吉弘氏（元 NHK アナウンサー）によりオンラインで実施し、担当教員を含め 35 名が参加した。

12 月 13 日（日）の成果報告会は各ミュージアムの関係者を招き、対面とオンラインを組み合わせにより開催し、約 50 名が参加した。

（3）2021 年度実施に向けて

2020 年度から継続して 4 大学 4 ミュージアム、4 科目で実施する予定である。

募集広報を強化するため、特設ホームページをリニューアルする。

4. 2021 年度「プラザ推奨科目」の採択について

2020 年 7 月から募集していた 2021 年度「プラザ推奨科目」について、2020 年 11 月 10 日第 3 回教育事業企画検討委員会において、新規申請の採択含む全 14 科目が確認された。

5. グローバル科目の開設および求められる e ラーニングの仕組みづくり

(1) グローバル科目の開設について

国際事業部「留学生スタディ京都ネットワーク」と連携のうえ「世界遺産 PBL 科目」「京都ミュージアム PBL 科目」やすでに単位互換提供されている異文化交流科目にかかる留学生への広報を強化し、受講登録を促進する。

具体的な取組として、財団「海外研修プログラム」の Facebook にて各 PBL 科目情報の発信を行った。また、単位互換制度案内パンフレットの掲載内容を全面的に見直し、科目テーマ〈ことば・言語を学ぶ〉および〈国際関係を学ぶ〉の中から選んだ科目群を新たに「グローバル科目」と位置づけ、積極的な PR を行う。

(2) e ラーニングの仕組みづくりについて

2020 年度、感染症拡大の影響から多くの単位互換科目で急遽オンライン授業が実施された。多くの大学でオンライン授業のための設備整備等も行われ、2021 年度も一定数のオンライン授業が開講されると見られる。単位互換事業においてはオンライン授業がもつ「受講機会拡大」「教育の質向上」の可能性を重視し、同授業の単位互換提供を促進するため、新たな補助金の枠組み「プラザ・オンライン科目」を制定した(従来の「プラザ科目」からの発展。2020 年 11 月 10 日 教育事業企画検討委員会にて承認)。これにより、従来キャンパスプラザ京都で実施する科目のみに支給していた補助金額を、キャンパスプラザ京都実施とオンライン実施を併用する科目、およびオンライン実施のみの科目にも支給する。なお、オンライン授業に対する文部科学省の評価等は引き続き注視のうえ、当該補助金の 2022 年度以降の継続是非に反映させるものとする。

2021 年 1 月下旬までで実施した科目提供登録の結果、オンライン実施のみの科目が 42 科目提供された。

6. 教職等資格取得に必要な科目の履修を支援する単位互換科目充実

(1) 日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実

これまで京都教育大学のオンキャンパス科目として開講されてきた教職科目が、2020 年度から日曜日に集中講義形式で行うプラザ科目(「教職日曜講座」)として提供される方針となっているが、2020 年度予定の 4 科目 8 単位については新型コロナウイルス感染拡大の影響により提供取りやめとなった。2021 年度は引き続き 4 科目 8 単位の科目提供で開講予定であり、加盟校への周知を進めている。

【実施スケジュール(主要事項)】

3 月 19 日～4 月 10 日	単位互換科目出願期間
4 月 17 日	単位互換全履修可否通知メール配信(AM5:00～)
5 月 10 日(日)<中止>	京都世界遺産 PBL 科目 全体講義
5 月 17 日(日)<延期>	PBL 科目インタビュートレーニング講座
5 月 24 日(日)<中止>	京都ミュージアム PBL 科目 全体講義
6 月 30 日(火)	第 1 回教育事業企画検討委員会
7 月 10 日(金)	第 1 回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7 月 20 日～9 月 20 日	単位互換学生への前期・夏期集中科目対象アンケート
7 月 30 日～8 月 5 日	単位互換・京カレッジ科目の前期試験・レポート提出期間(基本)
8 月 6 日～9 月 20 日	夏期集中科目開講
9 月 4 日～9 月 18 日	単位互換後期出願期間(この期間内で各大学で期間設定)
9 月 23 日	後期科目開講開始
9 月 19 日～9 月 24 日	科目提供大学履修可否入力期間
9 月 25 日	単位互換後期履修可否通知メール配信(AM5:00～)
9 月 26 日	2020 年度プラザ推奨科目の 2021 年度「新規・更新」「継続」申請締切
10 月 17 日	2020 年度プラザ推奨科目の 2021 年度開講中断申請書提出の締切
10 月 18 日(日)	PBL 科目トレーニング講座(インタビュー・プレゼンテーション)
11 月 10 日(火)	第 2 回教育事業企画検討委員会
11 月 13 日(金)	第 2 回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議

12月13日(日)	「京都世界遺産・京都ミュージアム PBL 科目」全体成果発表会 科目担当者調整会議
11月13日～1月18日	2021年度単位互換・京カレッジシラバス入力期間
12月23日～1月4日	冬期講義停止期間
1月 日～1月 日	各大学からの科目へ付番、e 京都ラーニングシステム改編、科目確定
1月 日～2月 日	単位互換学生への後期・通年科目対象アンケート
1月20日～1月26日	後期試験・レポート提出期間
2月8日	一斉停電による e 京都ラーニングシステム使用不可
2月8日	科目提供大学から学生所属大学への成績通知締切
2月12日	シラバス校正・修正期限、キャンパスプラザ教室確保
2月22日～ 3月2日	e 京都ラーニングメンテナンス期間（システム使用停止）
3月上旬	京都世界遺産 PBL、京都ミュージアム PBL チラシ、単位互換リーフレット、京都学講座学生向チラシの各大学配信
3月10日	2021年度開講 単位互換科目 HP 公表
3月18日～4月9日	2021年度単位互換科目出願期間（この期間内で各大学で期間設定）

(2) 生涯学習事業（京カレッジ）

【事業計画の概要および実績】

<概要>

第4ステージでは、京カレッジにおいて、「大学講義」、「市民教養講座」、同講座における「京都力養成コース」、「教養力養成コース」の4分野で270科目以上を開講し、出願者は延べ1,600名規模となり、特にシニア層で利用増となっている。加盟校の生涯学習プログラムを紹介する大学リレー講座によって、市民を加盟校プログラムの受講に繋ぐなどを含めて、シニア層の学ぶ意欲に応える加盟校の教育環境の充実を促進してきた。第5ステージでは、職業人や社会人の継続的な学び＝「リカレント教育」の環境充実が大学に求められている。近い将来において、加盟校がその特徴を活かした形で、社会人の生涯を通じての「学びの継続」に応える大学に変わることを目標に、以下のように新たな取組みを展開する。

1. 加盟校等におけるリカレント教育の実践促進

- (1) 加盟校が実施するリカレント教育の先行事例調査を行う
- (2) 加盟校プログラムの市民紹介企画を計画する

2. 社会人、シニア層を対象とした新たな大学プログラムの開発に資する事業の実施

- (1) 社会人対象リカレント教育の実験的プログラムを検討する

3. 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座の充実

- (1) 大学連携による京都学講座、大学リレー講座の実施促進
- (2) 京カレッジでの幼保特例プログラム等資格系の展開検討

<実績>

1. 2020年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

- (1) 前期・後期出願 提供科目、出願、受講許可状況について

①4分野で大学講義・公開講座を224科目（前年度257科目）提供する。

- 1) 大学講義(A～I) 単位修得も可能な科目(科目等履修生・聴講生)
- 2) 市民教養講座(J) 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座
- 3) 市民教養講座 京都力養成コース(K) 京都をより深く学べるコース
- 4) 市民教養講座 教養力養成コース(L) フィールドワークを通じて文化力・地域力(地域人材の育成)の向上を目的としたコース ※2017年度より

②出願者は実数で前期627名(2019年度前期812名)、延べ数で前期1,070名(2019年度前期1,558名)であった。減少の要因は、2019年度に110名の出願があった幼保特例プログラムが2019年度をもって終了したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け出願を見合わせる心理が大

きく働いたことにあると考えられる。

- ③後期は前期募集にて定員に満たなかったものを中心に63科目(2019年度75科目)の提供を受け7/18に公募情報を公開し、8/11～8/25の期間で出願受付を行った。その結果、新規出願者数は7名(前年度と同数)、延べ出願者数は25名(前年度比+13名)であった。

◇2020年度京カレッジの出願状況について ※()内は2019年度数

科目提供大学数	提供科目数	出願科目数	出願者数						受講許可者 延べ数
			実数			延べ数			
			前期	後期	合計	前期	後期	合計	
29(31)大学・短期大学 2(2)機関	224 (257)	97 (122)	627 (812)	7 (7)	634 (819)	1,070 (1,558)	25 (12)	1,095 (1,570)	723 (1,329)

2. 2020年度京都学講座「なんで京都に来はったんです？ー京都学講座の二十歳（はたち）を祝うー」の実施状況について

(1) 特徴的な状況

- 1) 2020年度出願者数は定員500名に対して388名であり、2019年度の523名から大幅に減少した。出願期間における電話対応等の状況から、京都学講座に例年出願していた京カレッジ生が新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け出願を見合わせたケースが多数あると考えられる。出願者においては、前年度と同様に午前受講希望が多かった。

- 2) 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令を受け、2020年4月17日教育事業企画検討委員会および京都学企画検討委員会（いずれも書面会議）において、5月から8月までに予定していた基本講座4講座の延期および7月に予定していた実地講座①（祇園祭前日に鯉山町席にて実施する講座）の中止を判断した。

その後の調整の結果、延期とした4講座について11月から2月までの間で振替日が決定した。

- 3) 2017年度からの定員拡大の中で、加盟校学部生を対象に特別受講枠（1回毎の受講可・無料・申込不要）として各講義定員25名を設けているが、2019年度は全講義合計13名（放送大学生以外）の受講にとどまった(2018年度は20名)。引き続き加盟校における学生への広報強化を依頼するとともに、京都世界遺産PBLおよびミュージアムPBL科目受講学生に対するPRや、スマートフォンアプリを活用した情報発信等を検討する。

(2) 京カレッジ・京都学開講記念講座の実施について

- ・ 2020年3月7日（土）に俳優のマッハ文朱氏をお招きして実施予定であった特別講座について、定員250名に対し300名の応募があり、不備16名を除く284名に受講を許可する等の準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、2020年2月26日京都学企画検討委員会（書面会議）においてやむなく中止することを判断した。

(3) 基本講座、実地講座の実施について

- ・ 基本講座については、上述のとおり500名定員に対して388名の出願があり、4/23締切の振込結果により最終の受講者320名が決定した。会場の「3密」を回避する基本的な感染予防対策をとり、受講者に対しあらかじめその内容を通知のうえ、2020年9月12日（土）から講座を開始した。参加状況は下表のとおり。
- ・ 2020年11月28日（土）は、予定していた講師が都合により辞退となったため、講師および講演内容を下表のとおり変更して実施することとなった。
- ・ 実地講座②の定員は午前・午後各30名、計60名を予定していたが、感染予防の観点から講師側と相談のうえ、午前・午後各15名、計30名へと変更した。あわせて希望者75名から抽選を実施し、結果の通知文書を郵送した。

◇2020 年度京都学講座実施状況について

回	開講日	テーマ	講師 *敬称略	備考	参加者 上午前 下午後	参考:2019 同時期 上午前 下午後
特別	中止	マッハの「だから京都！やっぱり京都！」ー海外生活の中で感じた誇りー	マッハ文朱 八木 透	3/7 から 変更	ー	335
1	9/12	足利尊氏はなぜ京都に来たのか	山田 徹		140 128	233 213
2	10/3	仏教における視覚文化の中心京都 ー外国人研究者の視点からー	ピーダセン ヒ ラリー		121 107	217 193
3	10/24	戦後京都の都市と建築の十大事件	上田 篤 川島 智生		113 114	222 175
4	11/7	京都の美意識と世界ブランド ースタバ 京都二寧坂ヤサカ茶屋店の誕生と成長 のキセキー	熊谷 保 小林 一彦	6/20 から 変更	123 104	217 173
5	11/14	能楽の魅力を再考察 ー国際的視点から みる日本の伝統芸能ー	ディエゴ ペレ ッキア		115 105	207 162
6	11/28	【変更前】 女子プロ野球の10年とこれから ースポ ーツでみやこを元気にー 【変更後】 「おおきに、お頼もうします」	【変更前】 明石 勇毅 【変更後】 豆まる 小林 一彦	講師変更	110 88	195 157
7	12/19	「学問の都」「大学の町」はいかにし て生まれたか ー近代京都・高等教育こ とはじめー	田中 智子		98 87	191 151
8	1/9	新文化庁の役割を問う ー文明の流れに おける日本の立ち位置から考えるー	近藤 誠一	6/6 から 変更	87 75	188 155
9	2/6	京都観光の魅力とは何か？ ー京都観光 の歴史と変遷から紐解くー	若村 亮	5/23 から 変更	103 86	184 163
10	2/20	京都から発信される、新しいアート	宮永 愛子	8/1 から 変更	100 84	198 159
実地 ①	中止	祇園祭「鯉山」のなぞ ータペストリーの来歴と鯉の作者ー	杉田 繁治	7/20 から 変更	ー	30 29
実地 ②	12/5	日本の伝統を生かした現代の家づくり について	横内 敏人 川島 智生		13 9	28 30

※2020 年度確定受講者午前 164 名、午後 156 名 （2019 年度午前 262 名、午後 238 名）

※「出席者数」には学生特別枠（基本講座のみ）での参加も含めている。

3. 2021 年度京都学講座の企画について

（1）京カレッジ・京都学講座開講記念講座(特別講座)、基本講座、実地講座について

- ・2020 年 7 月 9 日第 2 回京都学企画検討委員会から検討を開始した。仮テーマ「『ファクターX』を
さかのぼるー京都と疫病ー」のもと講師案の検討を開始することとなった。開講記念講座(特別講
座)は本来マッハ文朱氏(※2020 年度同講座の講師であったが新型コロナウイルスの影響により中止)
に依頼することが望ましいが、テーマに沿った別の講師も視野に検討を進めていくこととなった。
- ・2020 年 8 月 27 日第 3 回京都学企画検討委員会において、テーマのもと講師候補者がリストアップさ
れ、次回委員会までに第 1 段階の打診を各委員から行うこととなった。
- ・開講形態は、①新型コロナウイルス感染症拡大予防として定員を従来の 250 名から 130 名へ減少させ
ることを決定した(記念講座含む)。および、②感染症・災害等発生への備えおよび新たな受講者層
開拓等を目的とし、講座を収録した動画を配信する「ビデオ配信コース」新設に向けて進める方向

で検討していたが、講座資料における知的財産権対応の困難さ等を勘案し、見送ることとなった。

- ・2020年10月13日第4回京都学企画検討委員会およびその後の調整を経て、講師一覧が下記のとおり決定した。開講記念講座(特別講座)の日程についても2021年3月13日(土)に決定した。
- ・2021年3月13日(土)の開講記念講座については市民しんぶん等により広報を開始し、WEB または往復はがきにて2月19日(金)を締め切りとして応募受付を行った。応募数はWEB：1,098件、往復はがき：360件であった。

No.	講座種別	講義実施日	氏名	所属等
1	特別講座	3月13日(土) 13:30-15:00	山中 伸弥	京都大学iPS細胞研究所所長
			永田 紅	歌人、京都大学特任助教
			小林 一彦	京都産業大学文化学部教授
2	基本講座	5月22日(土)	井上 満郎	京都市歴史資料館館長、京都市埋蔵文化財研究所所長
3	基本講座	6月5日(土)	乾 光孝	上賀茂神社 権禰宜、 元国連NGO神道国際学会NYセンター主任
4	基本講座	6月26日(土)	八木 透	佛教大学歴史学部教授
5	基本講座	7月31日(土)	臈谷 寿	古代学協会理事長、同志社女子大学名誉教授
6	基本講座	8月21日(土)	澤田 瞳子	作家
7	基本講座	8月28日(土)	村上 忠喜	京都産業大学文化学部教授
8	基本講座	9月11日(土)	石坂 尚武	同志社大学名誉教授
9	基本講座	10月2日(土)	井並 林太郎	京都国立博物館研究員
10	基本講座	10月16日(土)	香西 豊子	佛教大学社会学部准教授
11	基本講座	10月30日(土)	葉山 美知子	京都医学史研究会
12	実地講座	7月20日(火) 15:30-16:30	杉田 繁治	公益財団法人鯉山保存会代表
13	実地講座	12月4日(土) 10:00-12:00	梅林 秀行	京都高低差崖会崖長、「ブラタモリ」出演
		13:30-15:30	川島 智生	京都華頂大学現代家政学研究所教授

4. 2020年度大学リレー講座の実施状況について

(1) 特徴的な状況

- 1) 京都学、宗教、歴史・文学、健康、自然科学への関心が高く、それを意識した講義テーマで2020年度は11大学11講座で実施する。2016年度のパイロット事業から開始している。2020年度新規参加は種智院大学と佛教大学であり、5年間で23大学・短期大学の参加となった。
- 2) 毎回の平均受講者数は2016年度約60名、2017年度は約140名、2018年度・2019年度は約210名と市民への認知度が高まっており、各大学の教育研究の特徴アピールに効果的となっている。また、2017年度から始まった文部科学省私立大学等改革総合支援事業補助金に講座参加がポイントとなる場合もあることから参加大学の拡がりも出てきている。
- 3) 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令を受け、2020年4月17日教育事業企画検討委員会(書面会議)において、5月から7月までに予定していた5講座の延期を判断した。
その後の調整の結果、延期とした5講座のうち4講座については12月から2月までの間で振替日が、1講座については大学判断により中止となることが決定した。
なお、定員を250名から130名へ変更したほか、会場の「3密」を回避する基本的な感染予防対策について実施大学の協力も得ながら、2020年9月19日(土)から講座を開始した。参加状況は下表の

とおり。

◇大学リレー講座の実施状況について（無料・申込不要 定員 250→130に変更）

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	備考	参加者
1	9/19	明治国際医療大学	柔よく剛を制す ー柔らかさを手に入れて、健やかな生活をー	松本 和久		86
2	9/26	同志社女子大学	観光まちづくりの可能性 ー北海道富良野におけるまちづくりの実践例ー	天野 太郎		62
3	10/10	平安女学院大学	巨石信仰と日本庭園	高橋 義人		127
4	10/31	佛教大学	自己をみつめる ー法然からのメッセージー	伊藤 真宏		135
5	12/12	京都橘大学	何が人を元気にする？ ー認知症と脳の健康とWell-beingー	小川 敬之	7/4 から変更	104
6	12/26	大谷大学	現代社会と仏教 ー濁世を生きる教えー	藤原 正寿		101
7	1/9	京都先端科学大学	ミツバチの恵み ーミツバチとヒトとの密接なかかわりー	坂本 文夫	6/13 から変更	89
8	1/16	龍谷大学	伝教大師最澄と比叡山 ー日本仏教の母山としてー	道元 徹心		109
9	2/6	種智院大学	絵巻『弘法大師行状絵』を読む	西 弥生	7/11 から変更	121
10	2/20	京都精華大学	戦国期京都の都市景観 ー戦災復興の視点からー	吉永 隆記	6/27 から変更	103
-	中止	花園大学	ブッダの教えはどう広まったのか	柳 幹康	5/30 から変更	-

6. 2021 年度の生涯学習事業にむけて

（1）リカレント教育関係の推進

- ・第5ステージプランとして大学におけるリカレント教育を推進するため、2019年6月25日第1回教育事業企画検討委員会において、財団のリカレント教育の推進方針（定義とビジョン）と「リカレント教育企画検討委員会」の設置と役割について決定した。

【財団で検討するリカレント教育の定義】「現役で働く人・世代」が、教養的なものよりも、様々な職種での力量形成を含めた「働くことに係る学び直しや継続的な学び」とする。

【財団のリカレント教育推進のビジョン】10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年齢段階の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場としても機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り込まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。財団はこのビジョンの下、加盟校支援と加盟校の取り組みをリードする事業を行う。

（2）2021 年度大学リカレント教育リレー講座の新規実施について

「働く人・世代」を対象として、加盟校が実施しているリカレント教育プログラムの内容や成果を受講希望者ならびに社会に広く発信し、大学で実施される本体プログラムの受講に繋げていくことを目的として実施する。また、企画全体を通して「大学のまち京都」における学生と社会人との学びあ

い、大学の特色を生かしたリカレント教育の取り組みを発信し、社会的認知度を高めていく。
以下、6 大学から参加申込があり、6 講座を実施予定。

日程	形態	大学名	講座テーマ	講師	定員
6月5日	オンライン	京都女子大学	日本の社会保障制度について	岡崎 昌枝 京都女子大学地域連携研究センター コーディネーター	150名
6月12日	対面のみ	立命館大学	「フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座」について	徳永祥子 立命館大学 准教授	45名
6月19日	オンライン	京都精華大学	デジタルメディア制作の領域での働き方、働くための技術とは。	株式会社クスール 学校事業部ディレクター・webディレクター	30名
7月10日	オンライン	京都工芸繊維大学	歴史的建造物を現代に生かす技術とデザイン	清水 重敦 京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 教授	60名
7月17日	対面+オンライン	京都橘大学	消費者行動の心理学	永野光朗 京都橘大学健康科学部心理学科教授	対面：45名 オンライン：200名
7月24日	オンライン	同志社大学	社会人の学び直しに対応した同志社大学のプロフェッショナルプログラム	武蔵 勝宏 同志社大学政策学部・教授	80名

(3) リカレント教育推進にかかわる加盟大学担当者とのネットワーク形成

各大学で推進されているリカレント教育は分野・内容が多岐に渡っており、担当する部署についても、社会・地域連携、大学院、研究、総務部門など大学によって様々であることから、大学間の横のつながりは形成されていない。2021 年度から実施するリレー講座の提供依頼を通して加盟大学担当者とのネットワークを形成し、共通する課題等について調査を行いながら連携の在り方について検討する。

(4) 2021 年度大学リレー講座の開講について

実施方針が 2020 年 11 月 10 第 3 回教育事業企画検討委員会で承認され、2020 年 12 月 10 日(木)を期日として募集した結果、講座一覧が下記のとおり決定した。

No.	日	大学	タイトル	講師名
1	5/15	京都女子大学	健康長寿のための栄養と生活習慣	中山 玲子
2	5/29	京都橘大学	幸齢のすすめ－現代における幸福な老いとはなにか－	岸 太一
3	6/12	花園大学	禅の修行は厳しい？ －日本における禅修行の確立－	小川 太龍 (おがわ たいりゅう)
4	6/19	大谷大学	平安京成立前史－都市史から見た山背遷都－	大艸 啓 (おおくさ ひろし)
5	7/3	平安女学院大学	台湾バナナと日本－繁栄したバナナ産業の記憶－	古関 喜之
6	8/7	龍谷大学	いのちに寄り添う仏教者たち	打本 弘祐
7	9/4	京都文教大学	認知症とともに生きる－認知症にやさしいまちの実現に向けて－	平尾 和之
8	9/18	京都精華大学	豊臣秀吉と地震－慶長伏見地震を中心に－	吉永 隆記
9	9/25	京都文教短期大学	“老いに勝つ”身体(からだ)づくり－運動と食事から－	森井 秀樹
10	11/20	種智院大学	生き神信仰が伝える宗教文化	スダン・シャキャ
11	11/27	同志社女子大学	観光と地域活性化 －京都郊外地域における可能性－	天野 太郎

(5) 2021 年度京カレッジ開講について

2021 年度は 198 科目が提供される予定となっており、今年度 224 科目より 26 科目の減少となっている。

ア) 2021 年度「市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)」の採択について

2020 年 7 月から募集していた 2021 年度「市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)」について、2020 年 11 月 10 日第 3 回教育事業企画検討委員会において全 5 科目が確認された。

イ) 手続き等の変更について

京カレッジ生からのニーズへの対応および事務局業務効率化の観点から、2020 年 11 月 10 日第 3 回教育事業企画検討委員会において下記のことを決定した。今後、これらの実施に必要なシステム面、運用面の各種整備を進めていく。

- ・ 従来の紙による出願方法に加えての WEB 出願の導入
- ・ 出願票への顔写真の貼付廃止
- ・ 「e 京都ラーニング」からの休講等通知のメールの配信対象化

【実施スケジュール（主要事項）】

4 月 1 日～4 月中旬	京カレッジ履修可否通知（各大学から出願者へ文書にて通知）
4 月 6 日	京都学講座受講許可者発送
4 月 23 日	京都学講座 受講料振込期日 受講許可者最終決定
5 月 30 日＜中止＞	京カレッジ大学リレー講座（担当：花園大学）
5 月～6 月	京都学講座実地講座可否通知、京カレッジ履修可者会員証の発行
6 月 30 日（火）	第 2 回教育事業企画検討委員会
7 月 9 日	第 2 回京都学企画検討委員会
7 月 10 日（金）	第 1 回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7 月 18 日	後期出願科目発表 科目
7 月 20 日＜中止＞	京都学講座 実地講座①（祇園祭「鯉山」のなぞ）
8 月 27 日	第 3 回京都学企画検討委員会
8 月 11 日～8 月 25 日	後期出願期間 ※キャンパスプラザ京都持参受付 8/25㍻
9 月 1 日	出願者データアップロード、出願票の開講大学への送付
9 月 12 日	京都学講座 第 1 回
9 月 19 日	京カレッジ大学リレー講座第 1 回（担当：明治国際医療大学）
9 月 26 日	京カレッジ大学リレー講座第 2 回（担当：同志社女子大学）
10 月 13 日	第 4 回京都学企画検討委員会
10 月 3 日	京都学講座 第 2 回
10 月 10 日	京カレッジ大学リレー講座第 3 回（担当：平安女学院大学）
10 月 24 日	京都学講座 第 3 回
10 月 31 日	京カレッジ大学リレー講座第 4 回（担当：佛教大学）
11 月 10 日	第 2 回教育事業企画検討委員会
11 月 7 日	京都学講座 第 4 回
11 月 13 日	第 2 回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
11 月 14 日	京都学講座 第 5 回
11 月 20 日	リカレント教育企画検討委員会（第 1 回）
11 月 28 日	京都学講座 第 6 回
12 月 5 日	京都学講座 実地講座②（日本の伝統を生かした現代の家づくりについて）
12 月 12 日	京カレッジ大学リレー講座第 5 回（担当：京都橘大学）
12 月 19 日	京都学講座 第 7 回
12 月 26 日	京カレッジ大学リレー講座第 6 回（担当：大谷大学）
11 月 13 日～1 月 18 日	シラバス入力期間
1 月 9 日	京都学講座 第 8 回
1 月 9 日	京カレッジ大学リレー講座第 7 回（担当：京都先端科学大学）

1月16日	京カレッジ大学リレー講座第8回（担当：龍谷大学）
1月中旬～	京カレッジ・京都学講座2021年度公募ニュースリリース開始
2月6日	京都学講座 第9回
2月6日	京カレッジ大学リレー講座第9回（担当：種智院大学）
2月上旬	京カレッジポスター・チラシ・京都学リーフレット配布開始（市・関連施設）
2月15日	京カレッジシラバス校正・修正締切
2月18日	京カレッジ・京都学講座新聞広報（京都・読売・朝日）
2月19日	京カレッジ・京都学講座開講記念講座3/13の応募締切
2月20日	京都学講座 第10回
2月20日	京カレッジ大学リレー講座第10回（担当：京都精華大学）
3月5日	2021年度科目公表、募集ガイド・大学リレー講座チラシ配布開始
3月5日～3月18日	京カレッジ出願期間 ※キャンパスプラザ京都持参受付3/17・18
3月13日	2021年度京カレッジ・京都学開講記念講座
3月下旬	京カレッジ出願 出願票・出願者データの各大学への送付

（３）インターンシップ事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

財団によるインターンシップ・プログラムは、これまで23年にわたり、学生の大学から社会への接続を目的としたキャリア教育として大学連携によって展開している。近年は加盟校、企業・団体がそれぞれインターンシップを行うようになり、新卒採用目的を含めてインターンシップが普及したことから、財団による比較的期間が長いプログラムへの学生参加と受入協力の企業・団体が減少している。一方で、学生が十分な企業研究や職業意識の形成ができていない状態での進路選択が多いことへの懸念と、また、京都地域の産業活性化に資するインターンシップのあり方の研究の必要性も出されている。学生が職業観を深め、京都地域の各種産業への関心を高め、受入れ先団体の組織改善に資するという、京都全体での人材育成と社会活性化を促進するインターンシップを進める。

1. 学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシップ・プログラムの促進

- （１）各コースの教育目標とその方法について必要な見直しを行う。
- （２）学生の専門分野を活かした社会経験と受入れ先の組織課題の進捗に係ることのできるプログラムの構築
- （３）優れた実習プログラムのモデル化や、受入れ先間の経験交流を促進し、プログラム全体の質向上を図る。
- （４）2年生次生向けのプログラム説明や広報の強化
- （５）コーディネーターと事務局の能力発揮を含む体制づくり

2. 加盟校のインターンシップ・プログラムの今後の方向性調査と連携の推進

- （１）加盟校とのプログラム内容に係わる接点の拡大
- （２）加盟校・財団の連携による学生広報の強化

3. 優れた実習プログラムを実施する受入れ先企業・団体と大学との接点の拡大

- （１）優れた受入れ先への感謝状贈呈の継続実施の方法を検討する。
- （２）受入れ先と大学の接点の拡大

4. 修了生（OB・OG）との継続的連絡体制の構築と現役学生への教育支援

- （１）修了生（OB・OG）と事務局の連携強化
- （２）修了生（OB・OG）と現役生への支援強化

5. 新たなインターンシップ・プログラムの調査研究

- （１）外部団体とのインターンシップについての意見交換の機会の設定

(2) 優れたインターンシップを実施する大学(加盟校以外も含む)、団体等への積極的な情報収集

6. メディア等を活用した情報発信

- (1) 外部団体等積極的な関係強化
- (2) メディアを通じた発信力の向上

<実績>

1. 運営について

(1) 広報・募集について

各大学への出向ガイダンスに加え、2020年度のプログラム用に主に2回生以下を対象にチラシ配布や各大学のポータルサイトでの広報をコーディネーター教員やキャリアセンター職員の協力を得て実施した。出向ガイダンスは1月に1大学で4回実施されたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により3月下旬から5月に実施する予定であったガイダンス(18大学、計26回)はすべて中止となった。対面でのガイダンスの実施が困難になったことから、財団ホームページに動画でのプログラム紹介や手続きの案内等を掲載した。受入先にも動画の提供を依頼し、複数の受入先から提供いただいた。

(2) インターンシップ・プログラム 実施の見合わせについて

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、京都府についても緊急事態宣言の対象区域として追加されたことをうけ、加盟校においては、前期中の対面での授業の中止や、課外活動に関する学生への自粛要請等がなされた。こうした状況を鑑み、感染拡大防止の観点、受入先企業の従業員と参加学生の安全、並びに単位を認定するインターンシップ・プログラムの質保証の観点から、今年度については、当財団が実施する全てのインターンシップ・プログラムの実施を見合わせることを財団理事長との協議を経てインターンシップ事業企画検討委員会(4月17日書面会議)にて判断した。

(3) 2021年度の実施に向けて

2021年度の講義実施計画の具体化を進めながら、ホームページ、募集ガイドなどの広報物をリニューアルし、出願手続き(出願、面接、レポート提出)のWEB化する。また、今年度のように学生の活動が著しく制限された場合でも対応可能なオンラインでのプログラムの開発に向けて、教育事業部でオンラインインターンシップを受入れ(8月26日～9月11日のうち計9日間、受入学生数5名)、その経験を踏まえて次年度のプログラムの企画運営、受入先の開拓に向けた準備を進めている。2021年度のビジネス・パブリックコースについては事前・事後学習をオンラインにより実施する。長期プロジェクトコースについては対面実施を基本とするが、各プロジェクト活動においてはオンラインを活用して効果的、効率的に実習を進めていく。

受入先件数については3月末時点で、ビジネス・パブリックコース:135件(前年179)、長期プロジェクトコース:14件(前年13)となっており、新型コロナウイルス感染症等の影響により、ビジネス・パブリックコースで減少している。

1) 募集広報

- ・財団インターンシップ関連ページを見直し、新たにインターンシップポータルサイトを開設
- ・学生向けインターンシップ・プログラム募集ガイド、ポスター
- ・受入先企業・団体向け開拓用パンフレット
- ・学生向けガイダンスはプログラム紹介動画等を活用しオンラインを主体に実施

2) 講義等へのオンライン導入の検討について

- ・講義…ビジネス・パブリックコースについて事前・事後学習をすべてオンラインで実施する。
- ・出願…これまでのWEBエントリーと対面での出願票提出による出願受付から、全てWEB上で出願できるシステムを構築中。
- ・面接
事前WEB予約制とし、2日間の都合の良い時間帯に学生が来館し対面で実施する。
- ・事前・事後レポートの提出…これまで対面での提出から、HP提出用ページよりアップロードする形式に変更する。

- ・実習…受入先に対して、アンケート方式によりオンライン導入の可否やその課題について確認。また、自らもオンラインのインターンシップ生を受け入れ、メリット・デメリットを検証。オンライン実習への理解や導入促進を目的として12月15日にインターンシップ・プログラム説明会を開催し受入先23名に参加いただいた。2月12日に受け入れ先実習プログラム研究会を開催し、受入先：21社23名、大学：9大学10名の担当者を交えて次年度のプログラムの有効な実施方法などについて情報交換を行った。

【実施スケジュール（主要事項）】

6月19日（金）	インターンシップ企画検討委員会①
7月28日（火）	総合・チーフ C0 会議
9月1日（火）	総合・チーフ C0 会議
10月1日（木）	総合・チーフ C0 会議
10月15日（木）	ビジネス・パブリックコース C0 会議
10月16日（金）	インターンシップ事業企画検討委員会②
10月20日（火）	長期プロジェクトコース C0 会議（臨時）
11月26日（木）	長期プロジェクトコース C0 会議
12月4日（金）	インターンシップ事業企画検討委員会③
12月15日（火）	ビジネス/パブリックコース 2021年度インターンシップ・プログラム説明会～オンライン実習の導入について～
1月下旬～2月	1回生向け2回生次受講案内他について各大学への訪問
2月12日（金）	受入先実習プログラム研究会
2月19日（金）	インターンシップ事業企画検討委員会④
3月中旬～	学生への情報公開、各大学への出向ガイダンス

※以下は中止

1月7日（火）～5月	各大学への出向ガイダンス実施
4月16日（木）	ビジネス・パブリックコース コーディネーター（以下C0）会議①
4月18日（土）	学生対象事前説明会・個別相談会（キャンパスプラザ京都）
4月23日（木）	長期プロジェクトコース説明会、個別相談会（キャンパスプラザ京都）
4月28日（火）	財団職員向け出願・受付業務説明会
5月15日（金）～ 5月16日（土）	出願・面接実施
5月21日（木）	長期プロジェクトコース コーディネーター会議①
5月30日（土）	インターンシップ・全マッチング可否結果発表
6月2日（火）	各大学 第1回科目担当者会議
6月4日（木）	ビジネス・パブリックコース 受入担当者交流・C0会議②
6月11日（木）	長期プロジェクトコース 講義①
6月15日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習①、C0会議③（龍谷大学・深草）
6月18日（木）	長期プロジェクトコース 講義②
6月25日（木）	長期プロジェクトコース 講義③
6月27日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習②、C0会議④（龍谷大学・深草）
7月2日（木）	長期プロジェクトコース 講義④・C0会議②
7月4日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習③、C0会議④（龍谷大学・深草）
7月9日（木）	長期プロジェクトコース 講義⑤
7月17日（金）～ 7月18日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習レポート提出（キャンパスプラザ京都）
9月3日（木）	長期プロジェクトコース 講義⑥

9月19日(土)	ビジネス・パブリックコース事後学習④・修了式、C0会議⑥(龍谷大学・深草)
10月1日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑦、C0会議③
10月2日(金)～ 10月3日(土)	ビジネス・パブリックコース事後学習レポート提出(キャンパスプラザ)
10月8日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑧
10月15日(木)	ビジネス・パブリックコース C0成績採点提出期限
10月22日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑨
11月9日(土)	長期プロジェクトコース 講義⑩・プロジェクトプレゼンテーション・修了式
11月12日(木)	長期プロジェクトコース 学習レポート報告提出
12月5日(土)	各大学第2回科目担当者会議(単位認定)

① 教育事業企画検討委員会(専門委員会)

教育事業部 各種委員会等の開催について

単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)

- 4月17日(金) 第1回※書面会議(主要議題:2020年度京都学講座、大学リレー講座の一部延期・中止)
- 6月30日(火) 第2回(主要議題:2020年度の単位互換事業・生涯学習事業の展開について)
- 11月10日(火) 第3回(主要議題:2021年度単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

(2) 生涯学習事業(京カレッジ)

① リカレント教育企画検討委員会 ※2019年度発足

主要議題:財団が推進するリカレント教育に関する施策の企画検討

- 11月20日(金) 第1回(主要議題:リカレント教育推進施策の企画検討について)

② 京都学企画検討委員会

- 4月17日(金) 第1回※書面会議(主要議題:2020年度京都学講座の一部延期・中止)
- 7月9日(木) 第2回(主要議題:2020年度京都学講座の実施状況と2021年度実施方針)
- 8月27日(木) 第3回(主要議題:2021年度京都学講座テーマ・講義案について)
- 10月13日(火) 第4回(主要議題:2021年度京都学講座テーマ・各講義・講師案の調整について)
- 12月12日(火) 第5回※書面会議(主要議題:2021年度京都学講座テーマ・各講義・講師の決定)

(3) インターンシップ事業

① インターンシップ事業企画検討委員会(専門委員会)

- 4月7日(火) (書面会議) (議題:大学コンソーシアム京都2020インターンシッププログラム 大学生向け説明会の対面形式での開催中止について)
- 4月17日(金) (書面会議) (議題:2020年度大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム実施の見合わせについて)
- 6月19日(金) 第1回(主要議題:2020年度事業の目的の明確化・具体化について他)
- 10月16日(金) 第2回(主要議題:2021年度講義計画(シラバス)について他)
- 12月4日(金) 第3回(主要議題:2021年度講義計画・スケジュールについて他)
- 2月19日(金) 第4回(主要議題:2020年度プログラムの振り返り、2021年度運営について他)

② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(ビジネス・パブリックコース)

※2020年度はプログラム中止に伴い第1回～第6回は中止

- 4月16日(木) 第1回(主要議題:2020年度インターンシップ・プログラム事業推進体制 他)
- 6月4日(木) 第2回(主要議題:選考結果について報告・担当クラスの確認 他)

- 6月13日(土) 第3回(主要議題: 事前学習実施に関わる連絡事項について 他)
- 6月27日(土) 第4回(主要議題: 事後学習に向けて 他)
- 7月4日(土) 第5回(主要議題: 中間指導について 他)
- 9月19日(土) 第6回(主要議題: 2021年度講義計画(シラバス)について 他)
- 10月15日(木) 第7回(主要議題: 2021年度講義計画確定 他)

③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(長期プロジェクトコース)

※2020年度はプログラム中止に伴い第1回～第2回は中止

- 5月21日(木) 第1回(主要議題: 2020年度成績基準、出願・選考について 他)
- 6月11日(木) 受入先合同会議(主要議題: 2020年度年間スケジュール 他)
- 7月2日(木) 第2回(主要議題: プロジェクトの進捗状況について 他)
- 10月20日(火) 臨時(主要議題: 2021年度講義計画(シラバス)について 他)
- 11月26日(木) 第3回(主要議題: 2021年度講義計画確定 他)

教育開発事業部 事業進捗

(1) FD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

FD 企画研究委員会の前身事業である文部科学省の戦略的・大学連携支援事業や FD の義務化から 12 年が経過した。FD 事業の運営は、FD フォーラムを担当する「FD フォーラム企画検討委員会」および FD フォーラム以外の FD 事業を担当する「FD 企画研究委員会」の 2 委員会体制で推進する。

◆FD フォーラム

今年度で 26 回目を迎え、加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流、取り組みの振り返りを行う。また、分科会の双方向的な運営などによる相互交流やポスターセッションによる情報発信についても、引き続き重視していくこととする。

◆FD 合同研修プログラム

FD 合同研修プログラムでは、次の 3 つの事業を展開する。

・大学執行部塾

各加盟校の学長等の大学執行部層を対象とする研修プログラムで、例年 6 月下旬に行われる当財団理事会・評議員会・会員総会開催日に実施する。

・テーマ別研修

新任教員や FD の基礎的な事項を学び直したいと考える教員や、FD 関連部署に勤務する職員や FD に関心のある教職員を対象とした研修プログラムで、9 月～2 月の土曜日等を実施する。加盟校教職員が抱える問題や課題、ニーズに合った実施形態やテーマを設定し実施する。

・京都 FD 交流会

加盟校教職員の FD 活動における工夫や悩みを共有しながら課題の解決に向けたヒントを探るなど、FD に関する様々なテーマのもと、加盟校の枠を越えて教職員が交流する機会を提供する。9 月、12 月、2 月の 3 回実施を予定している。

◆高等教育情報 NAVI「教まちや」

加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして 2014 年度に開始した。(1)イベントの投稿・掲載、(2)教まちや News (ブログ機能)、(3)メールマガジンの 3 つのコンテンツがある。「教まちや News」に掲載する大学の幅を広げるため、加盟校の事務職員によるリレー方式での掲載など、引き続き、様々な大学の特色ある取り組みを発信していく。

<実績>

◆第 26 回 FD フォーラム

全体テーマ 「あらためて大学とはなにか～コロナ禍を超えて新しい時代へ～」

日 時 2021 年 2 月 20 日 (土)、21 日 (日)、27 日 (土)、28 日 (日)

場 所 キャンパスプラザ京都 (オンライン開催)

参加者数 689 名 (加盟校 : 201 名、非加盟校 : 488 名)

シンポジウム

テーマ 「大学の教育・研究・社会貢献に新しいモデルは生まれうるか？
～COVID-19の経験を踏まえてAI化・ロボット化した世界の担い手を構想する～」

日 時 2021年2月20日（土）10：00～12：00

コーディネーター 山口 洋典 氏（立命館大学 共通教育推進機構 教授）

報告者 岡本 仁宏 氏（関西学院大学 法学部 教授）
杉森 公一 氏（金沢大学 国際基幹教育院高等教育開発・支援部門 准教授）

ポスターセッション

テーマ 発表者所属大学の特色ある教育に関する取り組み事例について

発表者 大学教育に関する取り組みについて発表を希望する大学コンソーシアム京都加盟校の教職員、学生

日 時 2021年2月20日（土）14：00～16：30
（Web サイト公開期間：2月13日（土）9：00～2月28日（日））

実施方法 Zoom ミーティングを使用し、あらかじめポスターおよび概要を Web サイトに公開
希望者は動画の掲載も可

発表件数 16 件

情報交換会（Zoom ミーティング）

日 時 2021年2月20日（土）17：00～18：30

分科会（11 分科会）

- ・2021年2月21日（日）
 - 第1分科会：「授業目的に応じた学びの時空間の選択～深い学びをはぐくむ反転授業」
(10：00～12：00)
 - 第2分科会：「開かれた教室、開かれた大学へ向けて メディア授業の可能性について考える」
(14：00～17：00)
 - 第3分科会：「(大学で) 学ぶとは？教えるとは？そして、良い授業とは？」(14：00～17：00)
- ・2021年2月27日（土）
 - 第4分科会：「これからの大学と大学教職員に求められる課題」(10：00～12：00)
 - 第5分科会：「これからの時代の実地教育の在り方を考える」(14：00～17：00)
 - 第6分科会：「with/after コロナ時代の教育開発支援」(14：00～17：00)
 - 第7分科会：「モチベーションクライシスと向き合う」(14：00～17：00)
- ・2021年2月28日（日）
 - 第8分科会：「ICTを活用した遠隔授業について考える。」(10：00～12：00)
 - 第9分科会：「若手研究者からみた『大学改革』－アフターコロナの時代を見据えて－」
(10：00～12：00)
 - 第10分科会：「私たちの最新教育改革ビジョンー近年の新設大学・学部教育理念・3つのポリシーから学ぶべきこと」(14：00～17：00)
 - 第11分科会：「コロナ時代における保育士養成演習科目子育て支援」(14：00～17：00)

◆大学執行部塾

日 時 2020年6月27日（土）11:00～12:20

場 所 キャンパスプラザ京都 2階 第1会議室
オンライン（Zoom ウェビナー）

テーマ 「組織的に取り組む学習者主体の教育への転換」

講 師 土持 ゲーリー 法一 氏
(京都情報大学院大学 副学長・教授／高等教育・学習改革センター長)
参加者数 19名(加盟校：18名、非加盟校：0名、一般：1名)

◆FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会【オンラインでの開催】

(1) FD 基礎知識

日 時 2020年9月12日(土) 13:30～15:30
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 鬼塚 哲郎 氏(京都産業大学 文化学部国際文化学科 教授)
耳野 健二 氏(京都産業大学 現代社会学部 教授)
林 秀美(大学コンソーシアム京都 副事務局長)
参加者数 29名(加盟校：11名、非加盟校：13名、FD 研究企画委員：5名)

(2) オンライン授業のためのワークショップ

日 時 2020年9月25日(金) 18:30～20:30
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 高尾 郁子 氏(京都薬科大学 学生実習支援センター 助教)
森 篤嗣 氏(京都外国語大学・京都外国語短期大学 外国語学部 教授)
参加者数 22名(加盟校：9名、非加盟校：9名、FD 研究企画委員：4名)

(3) 学習支援・特別支援のための基礎知識

日 時 2020年10月22日(木) 18:30～20:30
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 村田 淳 氏(京都大学 学生総合支援センター 准教授)
参加者数 20名(加盟校：4名、非加盟校：14名、FD 研究企画委員：2名)

(4) シラバス作成のための基礎知識・ワークショップ

日 時 2020年11月28日(土) 13:30～15:30
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 浅田 瞳 氏(華頂短期大学 幼児教育学科 准教授)
跡田 直澄 氏(京都先端科学大学 経済経営学部 特任教授)
参加者数 9名(加盟校：3名、非加盟校 4: 名、FD 研究企画委員：2名)

(5) 学習者中心の授業ワークショップ

日 時 2020年12月1日(火) 18:30～20:30
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 大原 ゆい 氏(大谷大学 社会学部 コミュニティデザイン学科 講師)
澤田 美恵子 氏(京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授)
参加者数 10名(加盟校：2名、非加盟校：5名、FD 研究企画委員：3名)

(6) 授業設計・授業実践ワークショップ

日 時 2021年1月16日(土) 14:00～16:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 永野 聡 氏(立命館大学 産業社会学部 准教授)
吉田 直子 氏(池坊短期大学 幼児保育学科 専任講師)
参加者数 10名(加盟校：2名、非加盟校：5名、FD 研究企画委員：3名)

◆京都 FD 交流会

(1) 第4回

日 時 2020年8月1日(土) 13:30～16:30
場 所 キャンパスプラザ京都(オンラインでの開催)

テーマ 「オンライン授業：現状と課題の整理」

コーディネーター・ファシリテーター 松本 真治 氏（佛教大学 文学部 教授）

松園 洋二 氏（平安女学院大学 子ども教育学部 教授）

話題提供 1 吉川 奈見 氏（佛教大学 教育推進部長）

話題提供 2 棚原 由香利 氏（京都産業大学 経営学部 事務長）

話題提供 3 松園 洋二 氏（平安女学院大学 子ども教育学部 教授）

参加者数 39 名（加盟校：13 名、非加盟校：26 名）

（2）第 5 回

日 時 2020 年 9 月 19 日（土）13：30～16：30

場 所 キャンパスプラザ京都（オンラインでの開催）

テーマ 「深い理解を促す反転授業 ～ICT を活用した授業を考える～」

タイトル 反転授業実施のための授業デザイン

ーなぜ、何のための反転授業なのかー

講 師 田口 真奈 氏（京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授）

澁川 幸加 氏（京都大学大学院 教育学研究科博士課程 2 年生）

参加者数 21 名（加盟校：11 名、非加盟校：10 名）

（3）第 6 回

日 時 2020 年 12 月 19 日（土）13：30～15：30

場 所 キャンパスプラザ京都（オンラインでの開催）

テーマ 「教学 IR」

講 師 藤田 和弘 氏（龍谷大学 先端理工学部 教授）

参加者数 41 名（加盟校：9 名、非加盟校：31 名、その他：1 名）

◆IR フォーラム【オンラインでの開催】

日 時 2020 年 8 月 30 日（日）13：00～17：00

場 所 株式会社リアセック本社（東京）、キャンパスプラザ京都の 2 拠点からのオンライン配信

テーマ 「変革する大学！学修成果の可視化や、学生支援のための戦略的組織改革の実践
～IR データを活用した修学支援や学生満足度 100%に向けた取組～」

基調講演

テーマ 「ポストコロナを見据えた大学改革の課題

～社会と大学の新たな関係構築を目指して～」

講 師 吉武 博通 氏（東京都公立大学法人 理事／筑波大学 名誉教授）

事例発表 1

タイトル 「達成度管理と IR システムに基づく教学マネジメント推進の取組」

～卒業時の質保証の実践（大学教育再生加速プログラム（AP）・テーマ V）」

報告者 椋平 淳 氏（大阪工業大学 教育センター長／教授）

事例発表 2

タイトル 「学生支援を軸とした戦略的組織改革の実践

～IR データを活用した改革のプロセスとその成果について」

報告者 谷内 篤博 氏（学校法人実践女子学園 理事／実践女子大学 人間社会学部長／学生
総合支援センター長）

事例発表モデレーター 森 正美 氏（京都文教大学 副学長／地域協働研究教育センター センター長／総合
社会学部総合社会学科 教授）

参加者数 427 名（加盟校：83 名、非加盟校：344 名）

◆FD 研修【オンライン開催】

日 時 2020 年 12 月 12 日（土）13：00～15：20

テーマ 「地域社会で生かす大学の『多文化共生』教育」

コーディネーター 金 基淑 氏（京都文教大学 総合社会学部 教授）

タイトル 「想像力の創造力を鍛えるー共生（ともいき）社会の構築にむけて」

報告者 杉本 星子 氏（京都文教大学 総合社会学部 教授）

タイトル 「地域との協働による高大連携型外国語教育の試み
ー福井県越前町熊谷での語学スタディツアーを通してー」

報告者 島村 典子 氏（京都外国語大学 外国語学部 准教授）

参加者数 13 名（加盟校：6 名、非加盟校：6 名、大学コンソーシアム京都：1 名）

【実施スケジュール（主要事項）】

6 月 27 日（土）	大学執行部塾
8 月 1 日（土）	第 4 回京都 FD 交流会（オンラインで開催）
8 月 30 日（日）	IR フォーラム（オンラインで開催）
9 月 12 日（土）	FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会 FD 基礎知識
9 月 19 日（土）	第 5 回京都 FD 交流会（オンラインで開催）
9 月 25 日（金）	FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会 オンライン授業のためのワークショップ
10 月 22 日（木）	FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会 学習支援・特別支援のための基礎知識
11 月 28 日（土）	FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会 シラバス作成のための基礎知識・ワークショップ
12 月 1 日（火）	FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会 学習者中心の授業ワークショップ
12 月 19 日（土）	第 6 回京都 FD 交流会（オンラインで開催）
1 月 16 日（土）	FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会 授業設計・授業実践ワークショップ
2 月 20 日（土） 2 月 21 日（日） 2 月 27 日（土） 2 月 28 日（日）	第 26 回 FD フォーラム

(2) SD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

◆SD 共同研修プログラム

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修を実施し、研修の幅を広げ、より多様な受講者に対応できるよう企画する。

◆SD ゼミナール

実施6年目を迎え、過去5年間実施してきた内容や受講生アンケート結果を参考に、応募条件や人数、開講形態、内容等を見直し、プログラムの充実を図る。また、前年度のSDゼミナール受講生を集めて「SDゼミナール修了生のフォローアップ研修」を設け、自己研鑽の場を提供する。そして、管理職や修了生を対象としたSDゼミナールの階層別研修の実施も視野に入れて検討する。

◆SD フォーラム

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得や人的ネットワークの構築に寄与する。各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD研修委員会においてプログラムの充実を図る。

◆SD ガイドブック

隔年で更新しており、2021年度版発行に向けて、SD研修委員などを通じてアンケート調査を実施し、ニーズを踏まえて充実したものとする。

<実績>

◆SD 共同研修プログラム【オンラインでの研修】

(1) ビジネスマナー

日 時 2020年10月7日(水) 10:30～15:30

対 象 教職員

講 師 北村 かおり 氏(株式会社ウィズネス 教育コンサルタント)

参加者数 28名(加盟校:26名、非加盟校:2名)

(2) マーケティング(入門編)

日 時 2020年11月20日(金) 13:30～17:00

対 象 教職員

講 師 青木 宏人 氏(株式会社マーケティングアシストプロジェクト 代表取締役社長)

参加者数 19名(加盟校:12名、非加盟校:6名、大学コンソーシアム京都:1名)

(3) 学校法人会計の基礎～超入門～

日 時 2020年12月15日(火) 13:30～17:00

対 象 教職員

講 師 島村 由紀 氏(学校法人藍野大学 法人事務局 総務センター経理グループ グループ長)

参加者数 41名(加盟校:31名、非加盟校:9名、大学コンソーシアム京都:1名)

(4) ロジカルシンキング～論理的思考の根底を学ぶ～

日 時 2020年8月19日(水)【午前】9:00～12:00 【午後】13:30～16:30

対象(目安) 勤続 10 年以上(実務 3 年以上も空き状況により参加可能)
講 師 藤原 真理弥 氏(株式会社話し方教育センター)
参加者数 23 名(加盟校: 18 名、非加盟校: 3 名、大学コンソーシアム京都: 2 名)

(5) 効率的な会議の進め方

日 時 2020 年 8 月 26 日(水)【午前】9:00~12:00 【午後】13:30~16:30
対 象 勤続 3 年以上
講 師 藤原 真理弥 氏(株式会社話し方教育センター)
参加者数 22 名(加盟校: 17 名、非加盟校: 3 名、大学コンソーシアム京都: 2 名)

(6) 研究支援の基礎知識~研究支援の超基礎がわかる~

日 時 2020 年 12 月 18 日(金) 14:00~17:00
対 象 教職員
講 師 佐藤 浩輔 氏(大阪体育大学 庶務部 研究支援担当)
参加者数 29 名(加盟校: 25 名、非加盟校: 4 名)

(7) IR 研修「基礎編」

日 時 2020 年 12 月 11 日(金) 13:30~17:00
対 象 教職員
講 師 田中 貴久 氏(京都女子大学 総務部 大学 IR 室)
参加者数 30 名(加盟校: 13 名、非加盟校: 17 名)

◆SD ゼミナール【2020 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止】

申込締切 2020 年 5 月 7 日(木) 申込者数: 2019 年度実績 17 名(2018 年度実績: 16 名)
第 1 回 2020 年 6 月 6 日(土)「アカデミック・ライティングの基礎」
講 師 坂本 尚志 氏(京都薬科大学 一般教育分野 准教授)
第 2 回 2020 年 6 月 13 日(土)「大学の歴史と制度」
講 師 江原 武一 氏(京都大学 名誉教授)
第 3 回 2020 年 6 月 20 日(土)「アカデミック・リテラシーと修了レポート」
講 師 村山 孝道 氏(京都文教大学 学長企画部 教学企画課 課長)
第 4 回 2020 年 6 月 27 日(土)「大学の戦略とリーダーシップ」
講 師 吉武 博通 氏(東京都公立大学法人 理事/筑波大学 名誉教授)
第 5 回 2020 年 7 月 4 日(土)「大学と高大連携・高大接続」
講 師 荒瀬 克己 氏(関西国際大学 基盤教育機構 教授)
第 6 回 2019 年 7 月 11 日(土)「大学と社会」
講 師 深尾 昌峰 氏(龍谷大学 政策学部 教授)
第 7 回 2020 年 7 月 18 日(土)「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」
講 師 西野 毅朗 氏(京都橘大学 教育開発支援センター/現代ビジネス学部 経営学科 専任講師)
第 8 回 2020 年 7 月 25 日(土)「大学と高等教育政策」
講 師 松坂 浩史 氏(文部科学省 高等教育局 私学部 私学行政課長)
受講生公開プレゼンテーション 2020 年 9 月 5 日(土)
修了レポート提出締切日 2020 年 10 月 26 日(月)

◆2019 年度 SD ゼミナール修了生のフォローアップ研修【オンライン配信】

日 時 2020 年 8 月 1 日(土) 14:00~16:00
講 師 田口 真奈 氏(京都大学 高等教育研修開発推進センター 准教授)

参加者数 10 名（2019 年度 SD ゼミナール修了者数 17 名）

◆第 18 回 SD フォーラム【オンライン配信に変更】

日 時 2020 年 10 月 25 日（日）13：00～15：30

場 所 オンライン開催

全体テーマ 「新たな価値を生むこれからの大学職員の姿—ルーティンワークからの脱却—」

講演

テーマ 「これからの大学経営と職員の役割」

講 師 両角 亜希子 氏（東京大学大学院 教育学研究科 准教授）

分科会

《中止》

情報交換会

《中止》

参加者数 533 名（加盟校：134 名、非加盟校：399 名）

【実施スケジュール（主要事項）】

6 月 6 日（土）	SD ゼミナール（第 1 回）「アカデミック・ライティングの基礎」【中止】
6 月 13 日（土）	SD ゼミナール（第 2 回）「大学の歴史と制度」【中止】
6 月 20 日（土）	SD ゼミナール（第 3 回）「アカデミック・リテラシーと修了レポート」【中止】
6 月 27 日（土）	SD ゼミナール（第 4 回）「大学の戦略とリーダーシップ」【中止】
7 月 4 日（土）	SD ゼミナール（第 5 回）「大学と高大連携・高大接続」【中止】
7 月 11 日（土）	SD ゼミナール（第 6 回）「大学と社会」【中止】
7 月 18 日（土）	SD ゼミナール（第 7 回）「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」【中止】
7 月 25 日（土）	SD ゼミナール（第 8 回）「大学と高等教育政策」【中止】
8 月 1 日（土）	2019 年度 SD ゼミナール修了生フォローアップ研修
8 月 19 日（水）	SD 共同研修プログラム「ロジカルシンキング～論理的思考の根底を学ぶ～」 【オンラインでの研修】
8 月 26 日（水）	SD 共同研修プログラム「効率的な会議の進め方」【オンラインでの研修】
9 月 5 日（土）	SD ゼミナール受講生公開プレゼンテーション【中止】
10 月 7 日（水）	SD 共同研修プログラム「ビジネスマナー」【オンラインでの研修】
10 月 25 日（日）	第 18 回 SD フォーラム【オンライン配信】
10 月 26 日（月）	SD ゼミナール修了レポート提出締切【中止】
11 月 20 日（金）	SD 共同研修プログラム「マーケティング（入門編）」【オンラインでの研修】
12 月 11 日（金）	SD 共同研修プログラム「IR 研修『超入門編』」【オンラインでの研修】
12 月 15 日（火）	SD 共同研修プログラム「学校法人会計の基礎～超入門～」 【オンラインでの研修】
12 月 18 日（金）	SD 共同研修プログラム「研究支援の基礎知識～研究支援の超基礎がわかる～」 【オンラインでの研修】

（３）京都高大連携研究協議会事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。

現在、国の「高大接続システム改革」の展開がなされていることから、その動向を十分に踏まえながら、各種事業の展開を検討することとする。

◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ており、毎年 200 名前後の参加者を得ている。「高大接続改革」の動向を見据え、高等学校、大学の双方の視点を摺り合わせながらテーマを検討するとともに分科会構成を再度検討し、高等学校、大学関係者が相集い、交流できる企画となるよう検討する。

◆高大社連携フューチャーセッション

高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて交流する。毎回テーマを設定し、そのテーマについて未来志向で対話する。京都府北部地域、京都市内地域ともに多くの高校生、大学生の参加が得られるよう、高等学校関係者と連携を取りながら、企画を検討する。

◆京都高校教員交流会

公立・私立を越えて、学校運営・授業運営上の悩みを共有し解決のヒントを探り合ったり、他校の取り組みを参考にし合ったり、授業改善に向け切磋琢磨するなど、高校教員同士が交流する機会を提供する。

今年度は安定的実施に向け、2019 年度参加者のニーズも踏まえながら企画していくとともに、多方面へ広報を行う。

<実績>

◆第 18 回高大連携教育フォーラム【オンライン】

日 時	2020 年 12 月 5 日（土）12：30～17：30（第 1 部、第 2 部分科会〈第 1～3 分科会〉） 2020 年 12 月 6 日（日）13：00～15：00（第 2 部分科会〈第 4 分科会、特別分科会①②〉）
場 所	キャンパスプラザ京都
テーマ	『教育の接続』としての入試改革Ⅱ ～高校教育の指導と評価が変わる—高校・大学は入試と教育にどう向き合うか～
参加者数	227 名

事例報告 1

テーマ	「生徒の主体性を掘り起こす仕掛け作り ～今、輝きの瞬間（とき）～」
講 師	澤井 洋一 氏（京都府立城南菱創高等学校 主幹教諭）

事例報告 2

テーマ	「資質・能力の育成に向けた 10 年の授業研究の歩み ～PISA 型学力と探究力の育成をめざして～」
-----	---

講 師 田中 晶一 氏（大阪府教育センター附属高等学校 首席）
池田 径 氏（大阪府教育センター附属高等学校 指導教諭）

事例報告 3

テーマ 「千葉大学の高大連携・接続教育改革の歴史
～グローバル理系人材育成力強化を目指して～」

報告者 野村 純 氏（千葉大学 教育学部 教授）

パネルディスカッション

テーマ 「高校・大学は入試と教育にどう向き合うか」

パネリスト 事例報告者 4 名（澤井氏、田中氏、池田氏、野村氏）

コーディネーター 細尾 萌子 氏（立命館大学 文学部 准教授）

分科会

第 1 分科会（国語）

テーマ 「論理的思考力・判断力・表現力を育成する授業の創造
～教科の枠を超える論理力～」

報告者 谷本 寛文 氏（京都光華女子大学 教育学部 学校教育コース長、准教授／京都大学
学際融合教育研究推進センター 特任准教授）

報告者 山本 亮至 氏（京都光華中学・高等学校 教諭）

コーディネーター 藤岡 文彦 氏（京都光華中学・高等学校 教頭）

第 2 分科会（地歴・公民）

テーマ 「地歴・公民科の学びを通じて育成したい資質・能力」

報告者 海老瀬 将太 氏（京都府立鴨沂高等学校 教諭）

報告者 徳永 俊太 氏（京都教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授）

コーディネーター 藤田 五樹 氏（京都府教育委員会 高校教育課 指導主事）

第 3 分科会（数学）

テーマ 「数学的な見方・考え方を働かせるということ」

報告者 河崎 哲嗣 氏（岐阜大学 教育学部 准教授）

報告者 吉田 和馬 氏（京都市立塔南高等学校 教諭）

コーディネーター 岡本 弘嗣 氏（京都市教育委員会 指導部学校指導課 指導主事）

第 4 分科会（探究）

テーマ 「学習者自らの問いづくりによる探究学習のデザインと実践」

報告者 西山 周平 氏（西山企画 代表）

報告者 平野 貴美枝 氏（FF ENGLISH 代表／NPO 法人ハテナソン共創ラボ 理事）

コーディネーター 佐藤 賢一 氏（京都産業大学 生命科学部 教授）

特別分科会①（アドミッション専門人材開発）

テーマ 「第 4 回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会（京都会場）」

報告者 立脇 洋介 氏（九州大学 アドミッションセンター 准教授）

報告者 植野 美彦 氏（徳島大学 高等教育研究センターアドミッション部門 教授）

コーディネーター 山本 以和子 氏（京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授）

特別分科会②（高大社連携キャリア教育）

テーマ 「高大社連携フューチャーセッション成果報告
～実行委員会方式となり何が変わったか～」

報告者 2020 年度高大社連携フューチャーセッション実行委員

コーディネーター 鮫島 輝美 氏（京都光華女子大学 健康科学部 准教授）

杉岡 秀紀 氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）

情報交換会

《中止》

◆2020 年度高大社連携フューチャーセッション【オンライン】

日 時 2020 年 11 月 15 日（日）13：00～16：00
テーマ 「考えてみませんか？with コロナ時代における新しいライフデザイン」
コーディネーター 鮫島 輝美 氏（京都光華女子大学 健康科学部 准教授）
杉岡 秀紀 氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）
ゲスト 長谷川 夕起 氏
（京都府立加悦谷高校・宮津天橋高等学校加悦谷学舎 高校魅力化コーディネーター）
坂下 朋紀 氏（ビジネス・ブレークスルー大学 グローバル経営学科 4 年）
柴崎 莉菜 氏（ビジネス・ブレークスルー大学 IT ソリューション学科 4 年）
参加者数 37 名（高校生 16 名、大学生 21 名）
内訳：一般参加者 19 名（高校生 4 名、大学生 15 名）
実行委員参加者 18 名（高校生 12 名、大学生 6 名）＊高校生 1 名欠席

◆京都高校教員交流会

（1）オンライン・プレ開催

日 時 2020 年 5 月 14 日（木）18:00～20:00
場 所 キャンパスプラザ京都
テーマ 「休校措置に伴う新入生のモチベーションと学習動機に関わるオンライン情報交換会」
司 会 塩瀬 隆之 氏（京都大学 総合博物館 准教授）
講 師 杉浦 健 氏（近畿大学 教職教育部 教授）
山本 恵果 氏（米国 CTI 認定プロフェッショナル・コアクティブコーチングシステムコーチ）
参加者数 高校教員等：59 名、高大連携推進室員：4 名、報道関係者：2 名 計 65 名

（2）第 6 回【オンライン】

日 時 2020 年 8 月 6 日（木）18：00～20：00
テーマ 「オンラインを活用したアクティブ・ラーニングの実践」
コーディネーター 細尾 萌子 氏（立命館大学 文学部 准教授）
講 師 東 一郎 氏（京都市立銅駝美術工芸高等学校 主幹教諭）
参加者数 13 名

（3）第 7 回【オンライン】

日 時 2020 年 10 月 10 日（土）13：00～16：00
テーマ 「課題発見のスキルとマインドを身に付ける授業を体験し、自らの授業への活用を考える」
コーディネーター・講師 佐藤 賢一 氏（京都産業大学 生命科学部 教授）
参加者数 11 名

（4）第 8 回【オンライン】

日 時 2021 年 2 月 3 日（水）18：00～20：00
テーマ 「2020 年度の教育実践の振り返りーよりよい高大連携・接続に向けてー」
参加者数 26 名

分科会

① 学習者主体の問いづくりと対話による教科・探究の学び

コーディネーター 佐藤 賢一 氏（京都産業大学 生命科学部 教授）

- ② 高校における３観点評価のあり方
コーディネーター 細尾 萌子 氏（立命館大学 文学部 准教授）
- ③ 大学入試改革への対応
コーディネーター 長谷川 豊 氏（京都府立大学 公共政策学部 准教授）
山本 以和子 氏（京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授）
- ④ 生徒・学生主体の高大連携のあり方
コーディネーター 鮫島 輝美 氏（京都光華女子大学 健康科学部 准教授）
杉岡 秀紀 氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）

【実施スケジュール（主要事項）】

5月14日（木）	高校教員交流会 オンライン・プレ企画
8月6日（木）	第6回京都高校教員交流会【オンライン】
10月10日（土）	第7回京都高校教員交流会【オンライン】
11月15日（日）	2020年度高大社連携フューチャーセッション【オンライン】
12月5日（土） 12月6日（日）	第18回高大連携教育フォーラム【オンライン】
2月3日（水）	第8回京都高校教員交流会【オンライン】

各種委員会等の開催について

(1) FD 事業

① FD フォーラム企画検討委員会

7月17日(金)	第1回FDフォーラム企画検討委員会
7月31日(金)	テーマ意見交換会
8月28日(金)	第2回FDフォーラム企画検討委員会
10月1日(木)	第3回FDフォーラム企画検討委員会
10月29日(木)	第4回FDフォーラム企画検討委員会
2月9日(火)	第5回FDフォーラム企画検討委員会
3月24日(水)	第6回FDフォーラム企画検討委員会

② FD 企画研究委員会

5月26日(火)	第1回FD企画研究委員会
6月30日(火)	第2回FD企画研究委員会
9月29日(火)	第3回FD企画研究委員会
12月17日(木)	第4回FD企画研究委員会
3月23日(火)	第5回FD企画研究委員会

(2) SD 事業

③ SD 研修委員会

5月26日(火)～ 6月2日(火)	第1回SD研修委員会(書面会議)
7月21日(火)	第2回SD研修委員会
9月24日(木)	第3回SD研修委員会
11月26日(木)	第4回SD研修委員会
2月25日(木)	第5回SD研修委員会
3月16日(火)	第6回SD研修委員会

(3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の④・⑤の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

④ 京都高大連携研究協議会 役員会

7月7日(火)	第1回役員会(書面会議)
10月2日(金)	臨時役員会(書面会議)
3月11日(木)	第2回役員会(書面会議)

⑤ 京都高大連携研究協議会 運営委員会

7月7日(火)	第1回運営委員会
3月11日(木)	第2回運営委員会

⑥ 高大連携推進室会議

4 月 28 日 (火)	第 1 回高大連携推進室会議 (メール審議)
5 月 19 日 (火)	第 2 回高大連携推進室会議
5 月 26 日 (火)	第 1 回拡大高大連携推進室会議、第 3 回高大連携推進室会議
6 月 12 日 (金)	第 4 回高大連携推進室会議
6 月 23 日 (火)	第 2 回拡大高大連携推進室会議
7 月 3 日 (金)	第 5 回高大連携推進室会議 (メール審議)
9 月 15 日 (火)	第 6 回高大連携推進室会議
11 月 26 日 (木)	第 7 回高大連携推進室会議
1 月 26 日 (火)	第 8 回高大連携推進室会議
2 月 2 日 (火)	第 3 回拡大高大連携推進室会議
3 月 2 日 (火)	第 9 回高大連携推進室会議
3 月 11 日 (木)	第 4 回拡大高大連携推進室会議

(1) 京都学生祭典事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく 2003 年から開催され、2020 年度で第 18 回を迎える。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10 月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1 年間を通して、地域交流を深めるため精力的に活動を行っている。

時代の変化の中には明るい話題だけでなく、将来に不安を感じる人もいるなか、「京都学生祭典だからこそできることは何か」と学生自ら問いに向き合い、学生の力を結集させたお祭りをつくり、京都から日本を盛りあげていくことを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1 年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。

◆第 18 回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催した。

《開催日時》2020 年 10 月 11 日（日）11 時 00 分～19 時 00 分

《会 場》平安神宮前・岡崎プロムナード（京都市左京区）/ 京都学生祭典特設ホームページおよび公式 YouTube Live

《テーマ》「夢、縁（ゆか）る。」

《企画趣旨》第 18 回京都学生祭典本祭では、京都学生祭典が今後も京都の人々に愛されるお祭りであり続けるために、年間を通して改めて「夢」や「縁」を大切に活動してきた集大成となる本祭を目指した。1 年間、様々な行事等で「縁」のあった方々に来場者・出演者などとして本祭に関わっていただけるような企画、また様々な方々の「夢」につながる企画、例えば学生の夢が始まる企画・学生の姿を見て子供たちが夢を抱ける企画・大人が学生を見て夢を思い出せる企画など、「夢」に関する企画を創り上げた。その中で、老若男女問わず、障害の有無に関わらず全ての人が楽しめる本祭となることも目指した。

《企画内容》新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から例年の開催形態を大幅に変更し、今年度は学生の様々なパフォーマンスを視聴する「視聴型企画」と、実際に参加していただける「参加型企画」の 2 種類の企画を実施した。

「視聴型企画」は本祭当日に実施した YouTube ライブ配信や本祭特設 HP にて京都学生祭典オリジナル創作おどり「京炎そでふれ！」の演舞披露企画、様々なジャンルのおどりを披露する団体を対象としたコンテスト企画「WOW! (お) どりパフォーマンス」企画、第 1 回から連綿と続く音楽コンテスト企画「Kyoto Student Music Award」企画を展開した。

「参加型企画」は Web 会議システム「Zoom」を活用して、参加者が一同に会し共有することのできる「総おどり企画」や本祭特設 HP で楽しむことのできる謎解き企画、Zoom で自

宅から参加することのできるオンライン料理教室を実施した。

【実施スケジュール（主要事項）】（2月25日時点）

1月14日（火）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年第1回）
2月13日（木）	第18回京都学生祭典事務局会議（2020年第1回）
3月11日（水）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年第2回）
3月13日（金）	第18回京都学生祭典組織委員会（2020年第1回）
4月16日（木）	第18回京都学生祭典事務局会議（2020年第2回）
5月15日（金）	第18回京都学生祭典事務局会議（2020年臨時）
5月27日（水）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年第3回）
6月18日（木）	第18回京都学生祭典事務局会議（2020年第3回）
7月1日（水）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年臨時）
7月9日（木）	第18回京都学生祭典組織委員会（2020年臨時）
7月29日（水）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年第4回）
8月20日（木）	第18回京都学生祭典事務局会議（2020年第4回）
9月11日（金）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年第5回）
9月16日（水）	第18回京都学生祭典組織委員会（2020年第2回）
10月27日（火）	第18回京都学生祭典事務局会議（2020年第5回）
11月13日（金）	第18回京都学生祭典企画検討委員会（2020年第6回）
11月25日（水）	第18回京都学生祭典組織委員会（2020年第3回）
12月17日（木）	第19回京都学生祭典事務局会議（2020年第6回）
1月15日（金）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第1回）
2月18日（木）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年第1回）
3月3日（水）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第2回）
3月12日（金）	第19回京都学生祭典組織委員会（2021年第1回）

◆第18回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
2月26日（水）	「祭典の歴史を学ぶ」研修	全員	企画検討委員長 木村光博氏	20名
3月5日（木） ～6日（金）	「京都でまつりをつなぐ」	全員 ※他団体 との合同 企画		実行委員:17名 その他:29名 計:46名
6月5日（金）	「ファシリテーション」 研修（オンライン開催）	全員	一般社団法人 京都経済同友会 梁瀬 晋也氏	34名

◆第 18 回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧

開催日	活動内容	担当部	参加者数
2019 年 12 月 18 日 (水)	市長表敬訪問	第 17 回執行部 (一部) および第 18 回四役	7 名
2020 年 1 月 11 日 (土)	第 7 回ものづくりフェア (高の原 イオン) ※ 京都府庁による紹介、主催: 木 津川市観光商工課、木津川市商 工会)	第 17 回および 18 回実行委員	15 名
1 月 11 日 (土)	安寧餅つき大会	第 18 回実行委員	25 名
1 月 13 日 (月)	令和 2 年京都市はたちを祝う記念 式典	第 18 回実行委員	21 名
1 月 25 日 (土)	映画『嘘八百』ヒット祈願プロモー ション	第 18 回実行委員	8 名
2 月 11 日 (火)	KYOTO 地球環境の殿堂: おどり 披露	第 18 回実行委員	20 名
4 月 1 日 (水)	京都の学生団体から日本全国の学 生の皆さんへの呼びかけ	第 18 回執行部 (一部)	2 名
7 月 22 日 (水)	本祭のオンライン開催に関する記 者発表	第 18 回執行部	8 名
9 月 10 日 (木)	平安神宮での成功祈願	第 18 回実行委員	43 名
9 月 11 日 (金)	京都市長表敬訪問	第 18 回執行部	4 名
9 月 14 日 (月) から計 6 回	京都市立下京渉成小学校 出前教 室	第 18 回おどり普 及部	3~4 名
9 月 16 日 (水) から計 2 回	京都市立大原学院 出前教室	第 18 回おどり普 及部	3~4 名
10 月 5 日 (月)	京都府知事表敬訪問および、学生 に向けた新型コロナウイルス感染 症防止対策の徹底の呼びかけ	第 18 回執行部	4 名
10 月 15 日 (木) から計 3 回	八幡市立中央小学校 出前教室	第 18 回おどり普 及部	3~4 名
11 月 25 日 (水)	成果報告会/交流会	第 18 回営業部	実行委員: 39 名 ◆成果報告会 現地参加: 28 名 オンライン参加: 17 名 ◆交流会

			現地参加：23 名 オンライン参加：1 名
--	--	--	--------------------------

◆新実行委員説明会

4 月より新実行委員の募集を開始しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、キャンパスプラザ内での活動や、対面での打合せの実施を自粛したため、HP にて実行委員会についての説明動画を公開した。7 月より Zoom を使った大学別オンライン新歓を実施。本祭当日には本祭ツアー

(Zoom)、Twitter ライブにて新歓を実施し、本祭の視聴者数獲得に加え新実行委員の獲得を目指した。本祭ツアーの参加者は 9 名、Twitter のライブ視聴者数は合計 441 人となり、複数名から説明会への応募や問い合わせがあった。引き続き部員獲得に努める。

◆第 19 回実行委員構成人数（3 月 22 日時点）

構成人数 61 名／19 大学 0 大学院 0 短期大学 0 専修学校（昨年同月 134 名）

① 加盟校 計 60 名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	2	8	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都橘大学	0	3
京都工芸繊維大学	2	2	京都ノートルダム女子大学	2	2
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	2	2
京都府立大学	2	1	京都文教大学	1	7
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	1	1	京都薬科大学	0	0
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	0	1	嵯峨美術短期大学	0	0
大谷大学短期大学部	0	0	種智院大学	0	2
京都医療科学大学	1	2	成安造形大学	0	0
京都外国語大学	1	3	同志社大学	1	4
京都外国語短期大学	0	0	同志社女子大学	2	5
京都華頂大学	3	3	花園大学	0	0
華頂短期大学	0	0	佛教大学	3	4
京都看護大学	0	0	平安女学院大学	4	10
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都光華女子大学	5	7	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	8	17
京都産業大学	10	10	龍谷大学	0	1
京都女子大学	8	29	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	0	1	大阪医科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	2	9	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 1 名（大阪商業大学 1 名）

③ 各部署人数

部署名	本年度	昨年度	部署名	本年度	昨年度
四役	4	4	年間交流部	7	8
企画運営部	18	45	営業部	6	9
警備部	4	18	広報部	9	15
おどり普及部	5	20	総務部	8	13
			プロジェクトメンバー		2

◆第 19 回おどり手構成人数（3 月 22 日時点）

構成人数 819 名／21 大学 0 大学院 1 短期大学 0 専修学校（前年同時期：957 名）

① 財団加盟校 計 819 名

（単位：名）

加盟校名	本年度	昨年度	加盟校名	本年度	昨年度
京都大学	41	52	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	8	0	京都橘大学	47	84
京都工芸繊維大学	3	1	京都ノートルダム女子大学	30	30
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	0	0
京都府立大学	13	17	京都文教大学	35	66
京都府立医科大学	1	2	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	46	51
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	9	11	嵯峨美術大学短期大学部	0	0
大谷大学短期大学部	0	0	種智院大学	0	0
京都医療科学大学	0	0	成安造形大学	0	0
京都外国語大学	2	0	同志社大学	48	68
京都外国語短期大学	0	0	同志社女子大学	99	98
京都華頂大学	0	2	花園大学	0	0
華頂短期大学	1	1	佛教大学	2	2
京都看護大学	0	0	平安女学院大学	0	0
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都光華女子大学	28	41	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	74	103
京都産業大学	179	110	龍谷大学	65	65
京都女子大学	86	142	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	2	4	大阪医科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	0	0	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 6 名（大阪大学 1 名、奈良女子大学 5 名）

1. 本祭

第18回京都学生祭典（本祭）

テーマ「夢、縁（ゆか）る。」

10/11（日）11：00～19：00

@京都学生祭典公式 YouTube チャンネル（YouTube Live!にて実施）

※一部企画を平安神宮前・岡崎プロムナード一帯で無観客開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、開催の中止や延期並びに実施形態の変更について基本方針を企画検討委員会にて審議した結果、Web 等を活用したオンラインでの開催を目指すことを確認した（7/9 付臨時組織委員会（書面会議）にて開催方針および予算案を承認）。史上初となるオンラインにて開催し、一部企画を岡崎地域から LIVE 配信するハイブリッド形式で実施し、YouTube Live や特設サイトにおいて非常に多くの方にご視聴をいただいた。

【実績値】

	YouTube 視聴回数 (単位：回)	特設サイト閲覧数 (単位：PV)
事前 (10/1-10/10)	9,842	21,275
本祭当日 (10/11)	10,611	13,337
事後 (10/21-10/31)	6,710	4,866
合計	27,163	39,478

2. プレイイベント

立案当初は合同新歓祭、イオンモールでのファミリー向けイベント、広報目的とした月イチプレイイベントを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、中止または開催形態を変更して行った。（実施の可否については本祭同様委員会にて審議・決定）

- ・4/18 合同新歓祭（仮称）@梅小路公園広場 ⇒中止

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、開催困難となったため形態を変更し、「web 版春の合同新歓祭」として web にて開催し、各参加団体・サークルの新入生向けの PR 動画を集約、発信した。

- ・8 月末もしくは 9 月上旬 単発的なイベントを木～日の 4 日間で複数ヶ所にて同時開催予定（イベント内容、場所等未定）⇒中止とし、オンラインでの広報イベント実施に注力した。

《オンラインプレイイベント》

- ・「おうちで祭典時間」を 5 月上旬から 6 月末まで開催した。
- ・フォトコンテスト「#京写真の祭典」の募集を 8/13 から 9/22 まで実施。8/26 にプレスリリース送信した。最終応募作品総数は 712 作品。
- ・オンライン地域交流企画「おうち時間川柳」の募集を 8/26 から 9/30 まで実施。9/19 付け日本経済新聞に当該記事が掲載された。応募総数 487 作品。
- ・オンラインイベント動画「京都で輝く人にインタビュー」「京都学生祭典沿革動画」「京炎 そでふれ！プロモーション動画」の制作・編集業務について、専門業者に委託。それぞれ本祭開催直前に配信し、高い視聴者維持率を獲得することができた。
- ・「なぞなぞみてみ隊」を YouTube にて 9/11 から 10/9 まで配信した。
- ・「オンライン留学生交流会」は 9/26 に Google Meet にて実施し、8 名の参加があった。

- ・「大学対抗！オンラインクイズ大会」は11月に本祭事後企画として配信した。

3. 広報関係

1) 広報方針

- ・オリジナル創作おどり「京炎 そでふれ！」を主軸に据えた SNS 中心の広報活動展開
- ・広報制作物の仕様等の大幅変更（公式パンフレットおよびオリジナルファイルの制作取りやめ、うちわ⇒抗菌マスクケースへ変更）

2) 本機校正を伴う広報物の制作・編集業務の包括委託契約

- ・2/27 付で委託先を決定し、3/2 にキックオフミーティング実施した。以降は実行委員主導で定期的に打ち合わせを実施していく方針を確認した。
- ・B7 冊子、A2 ポスター、マスクケース、A3 リーフレットは京都市内の各所にてローラー活動を実施し、店舗等へ配架依頼をした。
- ・スタッフ T シャツ（赤 T シャツ）は、9/10 に納品され成功祈願、ローラー活動、動画撮影等の際に着用して活動した。
- ・オリジナルグッズの卓上カレンダーは、10/29 に協賛企業 2 社の本機校正確認を経て 12/1 に納品された。
- ・報告パンフレットは 11/16 に校了し、11/20 に納品された。

3) 新聞広告（1 面）掲載に関わる業者との調整

- ・7/9 に新聞社と打ち合わせを実施した。10/11 付朝刊にメインビジュアルを主とした全面広告を掲載した。

4) SNS 広告

- ・Google、Yahoo!Japan のディスプレイ広告および、Instagram、YouTube、Twitter での動画広告を展開した。

5) 記者発表

- ・7/22 に Zoom を活用して開催形態に関する記者発表を実施した。新聞社 2 社が参加した。

6) 京都新聞サービス枠への広告掲出

- ・施工業務受託事業者による無償提供により、広告を掲出した。

<掲載日>

- ①10/2 付朝刊放送ページ内
- ②10/5 付朝刊 BSTV 横欄
- ③10/6 付朝刊放送ページ内
- ④10/9 付朝刊 BSTV 横欄、同日付夕刊テレビ欄
- ⑤10/10 付朝刊地域プラス欄

計 5 回

4. 営業関係

(1) 第 18 回京都学生祭典

- ・協賛活動（実績：48 社、15,020,000 円）で終了 ※獲得額：目標対比 94%
- ・個人サポーター（実績：70 組、212,910 円）で終了 ※獲得額：目標対比 47%
- ・成果報告会および交流会（11/25@キャンパスプラザ京都 第 2 講義室 ※オンライン参加可）
《成果報告会》 現地参加：28 名、オンライン参加：17 名

《交流会》 現地参加：23 名、オンライン参加：1 名（実行委員：39 名）

(2) 第 19 回京都学生祭典

1) 方針

- ・第 18 回のスポンサープログラムを踏襲しつつ、紙媒体だけでなく WEB を有効活用した協賛メリットを検討中。
- ・第 18 回にオリジナルグッズ制作した卓上カレンダーは、納品が 12 月となることで配布期間が限られることから、今回は視覚的・長期的広報の観点から紙ファイルの制作を検討中。

5. 京炎みこし担ぎ手

- ・2/12 に京炎みこし保存会と打ち合わせを実施した。同会の方針として「実行委員会の方針を最大限尊重する」「適宜実行委員による相談に対してアドバイスする」ことが示された。
- ・4/1 より公式 HP 上にて募集をしていたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から募集を中止した。
- ・第 18 回ではみこしを担ぐことを断念し、オンライン上でみこしに関するクイズを展開した。

6. 公募関係

1) メインビジュアル

- ・1/8 に募集開始、3/6 に締切った。エントリー：26 件、作品提出：23 件、作品未提出数 7 件。実行委員会内で 4 作品に絞り 3/7～3/9 にかけて SNS にて投票を行った。同志社大学 3 回生の作品に決定。

2) 本祭企画

- ・オンライン開催における募集要項を 8/10 に公開し出演団体募集を開始し 8/31 に締切った。

3) 新実行委員募集

- ・4 月より募集は開始しているが、獲得は難航している。HP 上に実行委員会の紹介動画を公開や Zoom を用いてオンライン説明会を実施した。SNS のダイレクトメールを通じて募集活動も継続して実施している。本祭当日には Instagram のインスタライブにて新歓を実施した。

7. その他（第 19 回関係）

- 1) 11/25 開催の第 3 回組織委員会にて第 19 回京都学生祭典実行委員会が発足した。
- 2) 1/13～3/26 の期間で、第 19 回メインビジュアルを募集し、4 件の応募があった。
1/5 に募集チラシが納品され、京都府下の芸術大学・美術大学を中心に配架を依頼した。
- 3) 1/15 開催の第 1 回企画検討委員会にてテーマが「ふれてみいひん？京文化」に決定した。
- 4) 木村企画検討委員長による祭典の歴史に関する研修を 2/2 に実施した。参加者：12 名（うち執行部 10 名）
- 5) 第 1 回事務局会議を 2/18 に、第 2 回企画検討委員会を 3/3 に開催した。
- 6) 3/5 に広報物のデザイン・制作・編集業務委託先を決定した。

(2) 京都国際学生映画祭事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002 年（第

5 回) から財団が単独で主催している。2020 年度においても、国内外を問わず実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第 23 回京都国際学生映画祭 (2021 年 2 月 12～14 日開催予定) の企画や運営、PR を 1 年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。しかしながら、その映画祭を支える実行委員の慢性的な人不足が続いており、2020 年度もできるだけ多くの新規実行委員の獲得を目指す。また、実行委員の成長を促すためのサイクルの構築といった支援体制についても検討する。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、従前通りの活動が困難となっており、Zoom 等の Web 会議システム等を多用することで、実行委員とのコミュニケーションを図り、当該事業を展開していく。

<実績>

【実施スケジュール (主要事項)】

3 月 6 日 (水)	2019 年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会 (第 4 回)
4 月 4 日 (土)	第 23 回京都国際学生映画祭実行委員会発足
4 月 21 日 (火)	コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報開始
4 月 22 日 (水)	公式 web サイト本番リリース
4 月 22 日 (水) 10 時～ 6 月 30 日 (火) 16 時	第 23 回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集期間
7 月 8 日 (水)	2020 年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会 (第 1 回)
8 月 19 日 (水)	第 1 回研修会 (株式会社ディレクターズ・ユニブ 板倉一成 氏) (オンライン開催)
8 月 28 日 (金)	第 2 回研修会 (株式会社ディレクターズ・ユニブ 板倉一成 氏) (オンライン開催)
10 月 22 日 (木)	第 2 回企画検討委員会
11 月 21 日 (土)	本祭イベント (キャンパスプラザ京都前ミニ上映会)
11 月 28 日 (土)	本祭イベント (キャンパスプラザ京都前ミニ上映会)
12 月 11 日 (金)	臨時企画検討委員会
12 月 24 日 (木)	本祭プレスリリース
2021 年 1 月 6 日 (水) ～	連携事業 (京都大学医学部附属病院映像配信)
1 月 13 日 (水)	第 3 回研修会 (株式会社ディレクターズ・ユニブ 板倉一成 氏) (オンライン開催)
1 月 20 日 (水)	第 4 回企画検討委員会
1 月 24 日 (日)	最終審査会
2021 年 2 月 12 日 (金) ～2 月 14 日 (日)	第 23 回京都国際学生映画祭はオンライン形式のみでの開催が決定したため、京都文化博物館フィルムシアター等で配信コンテンツを本来の開催期間に事前収録予定。
2 月 26 日 (金) ～3 月 5 日 (金)	第 23 回京都国際学生映画祭 (動画配信サイト「Vimeo」にてオンライン開催)
3 月 17 日 (水)	第 5 回企画検討委員会

◆第 23 回実行委員構成人数＜2021.1.26 現在＞

構成人数：15 大学 15 短期大学 0 専修学校 0 （前年度：24 名 内非加盟校（関西学院大学 2 名））

① 加盟校 計 10 名

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学		1	京都女子大学	2	3
京都大学大学院			京都精華大学	1	1
京都教育大学			京都西山短期大学		
京都工芸繊維大学	1		京都芸術大学	1	
京都工芸繊維大学大学院		2	京都橘大学		
京都市立芸術大学			京都ノートルダム女子大学		
京都府立大学			京都美術工芸大学		
京都府立医科大学			京都文教大学		
福知山公立大学			京都文教短期大学		
池坊短期大学			京都薬科大学		
大谷大学			種智院大学		
大谷大学短期大学部			成安造形大学		
京都医療科学大学			同志社大学	1	5
京都外国語大学			同志社女子大学		
京都外国語短期大学			花園大学		
京都先端科学大学			佛教大学	1	
京都華頂大学			平安女学院大学		
華頂短期大学			平安女学院大学短期大学部		
京都看護大学			明治国際医療大学		
京都経済短期大学			立命館大学	2	4
京都光華女子大学			龍谷大学		
京都光華女子大学短期大学部			龍谷大学短期大学部		
嵯峨美術大学			大阪医科大学		
嵯峨美術大学短期大学部			京都情報大学院大学		
京都産業大学	1	1	放送大学・京都学習センター		

② 非加盟校：5 名（大阪音楽大学 1 名、大阪商業大学 1 名、大阪大学 1 名、近畿大学 1 名、関西外国語大学 1 名）

【特記事項】

進捗報告（第 23 回）

① 審査部門

1) 作品募集結果

※ [] はアニメーション作品数

	国内	海外	総数
2020 年度（第 23 回）受付作品数	100 [16]	272 [33] (22 ケ国)	372
2019 年度（第 22 回）受付作品数	101 [12]	176 [45] (29 ケ国)	277
2018 年度（第 21 回）受付作品数	98 [23]	490 [115] (33 ケ国)	588

2017 年度（第 20 回）受付作品数	129 [32]	356 [84]（38 ヶ国）	485
2016 年度（第 19 回）受付作品数	167 [70]	372 [116]（41 ヶ国）	539 [186]
2015 年度（第 18 回）受付作品数	123 [31]	94 [27]（17 ヶ国）	217 [58]
2014 年度（第 17 回）受付作品数	163	187（26 か国）	350
2013 年度（第 16 回）受付作品数	212	145（19 か国）	357

2) 最終審査通過作品決定

国内：3 件 [1] 海外 13 件 [2]（7 ヶ国） 計 16 件 ※ [] はアニメーション作品数

No.	原題（英題）	監督名	尺	学校	所在国
1	Masel Tov Cocktail	Arkadij Khaet Mickey Paatzsch	30	Filmacademy Baden-Württemberg	ドイツ
2	OFFBEAT	Myrte Ouwerkerk	20	Netherlands Film Academy	オランダ
3	こちら放送室よりトム少佐へ (Major Tom)	千阪拓也	10	日本大学	日本
4	CARGO	Christina Tournatzés	15	Macromedia University of Applied Science	ドイツ
5	Jung Fragil (Young, Fragile)	Joscha Bongard	25	Filmakademie Baden- Wuerttemberg	ドイツ
6	Espacios Vacíos (Empty Spaces)	Clara Stephanie Schieber Lorenesi	20	University of Warwick	イギリス
7	ワンダフル千鳥足 in ワンダ ーランド (Boozy Woozy Wonderland)	岡田詩歌	2	東京藝術大学大学院	日本
8	We bloom	KIM Yul-hee	28	KOREA ARTS CONSERVATORY	韓国
9	SEOMYEONG(Signature)	SeungHui HYUN	28	Seoul Institute of the arts	韓国
10	Dom(Home)	Marcjanna Urbańska	5	Lodz Film School	ポーランド
11	BONBON	Daniel Meier	22	Technische Hochschule Ostwestfalen-Lippe Fachbereich Medienproduktion	ドイツ
12	少年阿堯(Growing Pains)	LIN, PO-YU (林柏 瑜)	25	National Taiwan University of Arts	台湾
13	Pick-up	Roh Dohyeon	13	Chung-Ang University	韓国

14	The Coral Guardian	David Dincer	10	Filmakademie Baden-Wuerttemberg	ドイツ
15	sweep.	宮原拓也	42	ENBU ゼミナール	日本
16	Nateq(Talker)	Mehrshad Ranjbar	13	Pars University	イラン

※色付きはアニメーション作品

3) 最終審査員

最終審査員	プロフィール
おおく あきこ 氏 大九 明子 氏	監督、脚本。横浜市出身。1997年に映画美学校第1期生となり、『恋するマドリ』(07)、『東京無印女子物語』(12)、『でーれーガールズ』(15)などを手掛け、17年に監督、脚本を務めた『勝手にふるえてろ』で、第30回東京国際映画祭コンペティション部門・観客賞をはじめ数々の賞を受賞。近年の作品では、映画『美人が婚活してみたら』(19)、『甘いお酒でうがい』(20)に続き、『私をくいとめて』(20)が第33回東京国際映画祭 TOKYO プレミア 2020 で2度目の観客賞を受賞。
かわい はやと 氏 河合 勇人 氏	映画監督、TVドラマ演出家、CMディレクター。日本大学芸術学部を卒業後、相米慎二監督や黒木和雄監督、崔洋一監督らのもとで助監督として経験を積む。2007年に『花影』で監督デビュー。 主な演出作品に『鈴木先生』(13) (ギャラクシー賞優秀賞)、『俺物語!!』(15)、『黒崎君のいいなりになんてならない』(15)、『兄に愛されすぎて困ってます』(17)、『チア☆ダン〜女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話〜』(17)、連続ドラマ W『春が来た』(18)、『ニセコイ』(18)、『全裸監督』(19)、『かぐや様は告らせたい〜天才たちの恋愛頭脳戦〜』(19)など。
こばやし たつお 氏 小林 達夫 氏	映画監督。1985年京都府生まれ。2007年『少年と町』が第10回京都国際学生映画祭にてグランプリを受賞。その後、『カントリーガール』(10)、『カサブランカの探偵』(13)と、京都を舞台とした作品を監督。そして2015年、自身初の劇場用公開作品となる長編時代劇『合葬』が公開され、第39回モントリオール世界映画祭ワールド・コンペティション部門に正式出品となる。2016年、映画分野として初の京都市芸術新人賞を受賞。近作にドラマ『ブシメシ! 2』(18)、『昭和元禄落語心中』(18)がある。

4) 最終審査会結果

2021年1月24日(日)にオンライン開催された最終審査会の結果、以下の通り受賞者が決定した。

	作品名	部門	国
👑 グランプリ	Talker	実写	イラン
👑 準グランプリ	We bloom	実写	韓国
👑 準グランプリ	The Coral Guardian	アニメ	ドイツ
最終審査員賞 (大九明子賞)	ワンダフル千鳥足 in ワンダーランド	アニメ	日本

最終審査員賞（河合勇人賞）	Pick-up	実写	韓国
最終審査員賞（小林達夫賞）	Young, Fragile	実写	ドイツ

② 企画部門

京都国際学生映画祭プレイベント in キャンパスプラザ京都

第1回 日時：11月21日（土）17:00～18:45

第2回 日時：11月28日（土）17:00～18:45

連携イベント企画

京都大学医学部附属病院にて入院患者対象(984床)に過去の入選作品を配信。

日時：2021年1月6日（水）～

③ 国際部門

字幕翻訳ボランティア説明会（オンラインにて実施済み）

第1回 日時：9月20日（日） 13時～15時

第2回 日時：9月25日（金） 19時～21時

④ 広報部門

（1）渉外

1）第22回京都国際学生映画祭：協賛/後援先への事業報告 4/25完了

2）第23回京都国際学生映画祭：協賛依頼

社会情勢を考慮し依頼方法を検討しながら、今年度も学生実行委員による各企業へ協賛を依頼した。協賛金：計6社、34万円＋物品提供（3万円相当）

（2）広報

・コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報開始

・Twitter、Facebook、ブログにてコンペティション作品募集（6/30締切）、新規実行委員募集の案内開始

・第23回京都国際学生映画祭プレスリリース配信（4/21）

・第23回京都国際学生映画祭プレスリリース配信（12/24）

（3）制作

・コンペ作品および新規実行員募集チラシ/ポスター制作：4/20納品済

・第23回京都国際学生映画祭公式カタログ：2/12納品済

（4）企画

・オンライン開催にあたり、映画監督らによる「応援コメントリレー」、「最終審査員×学生監督トークセッション」など様々な配信コンテンツを配信した。

⑦ その他

（1）助成金事案

・令和2年度 芸術文化振興基金助成金 交付要望書 11月15日（金）提出済

・令和2年度 芸術文化振興基金助成金 交付申請書 5月26日（火）提出済。

（2）ndjc2020 推薦

・第22回京都国際学生映画祭：最終審査員賞を受賞した吉田奈津美氏（町田梨華氏は辞退）を推薦した（6/16ndjc事務局へ発送）。7/14ndjc事務局より選考を通過し、ワークショップに参

加できることとなった。第 2 段階の制作実務研修には進めなかった。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

【本祭実施に伴うガイドライン】

- ・ 7/30 に本祭実施に伴うガイドライン案を作成、8/7 に京都文化博物館と打ち合わせを行った。
実行委員の在籍大学がどの程度濃厚接触等について規制を設けているか、実行委員へのヒアリングを中心に調査の上、ガイドラインに反映した。

【実行委員による今後の屋内外活動のガイドライン】

- ・ 9/2 に実行委員による今後の屋内外活動のガイドラインを作成した。

(3) 障がい学生支援事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が 2016 年 4 月から施行されるに伴い、各大学は障がい学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障がい支援業務に携わる担当者による「関西障がい学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、学生へは、聴覚障がい学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座・パソコン（PC）テイク養成講座を開講する。

さらに、障がい学生支援事業企画検討委員会を積極的に活用し、加盟大学のニーズを踏まえた研修会も実施する。

<進捗>

◆オンライン講義における合理的配慮に取り組む上での参考情報について

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、企画検討委員による意見を基に当財団ホームページにて参考サイトを紹介（5 月 1 日付）。5 月 2 日に当財団加盟大学の窓口担当者宛にメールにて周知依頼済。

◆第 24 回関西障がい学生支援担当者懇談会

2020 年 2 月 28 日（金）に開催予定で準備を進めていた第 24 回関西障がい学生支援担当者懇談会については、63 名の参加申し込みがあったが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、開催を中止することに決定した。

◆ノート・パソコン(PC)テイク養成講座—captiOnline を使った遠隔 PC テイク—（オンライン開催）

日時：2020 年 8 月 21 日（金）14：00～16：30

会場：Zoom による配信型講座

内容：オンライン講義での遠隔文字情報保障の方法（Zoom と captiOnline の事例）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による各大学においてオンライン講義での対応が求められている現状を鑑み、今回は遠隔文字情報保障の方法として Zoom と captiOnline の使い方の講座を開講した。

①全体会・基礎編（講師：特定非営利活動法人ゆに 窪崎氏）

②実践編（担当：特定非営利活動法人ゆに 窪崎氏、久門氏、中村氏）

参加者：22 名（加盟校 11 名、非加盟校 11 名）

◆第 25 回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）（オンライン開催）

日時：2020 年 9 月 4 日（金） 14：00～17：15

会場：Zoom による配信型懇談会

内容：障がい学生支援におけるオンライン対応の事例

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、各大学・短期大学が抱える課題や、行われている取組の事例提供、情報交換などを行い、今の状況の下での障がい学生支援の在り方や、後期セメスターで想定される課題との方策について検討することを目的とする。

①話題提供：『新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて』

（講師：同志社大学学生支援センター障がい学生支援室コーディネーター 土橋恵美子氏）

②分科会 A：オンライン講義における合理的配慮

分科会 B：コロナ禍における学生のメンタルヘルスについて

分科会 C：大学行事や学生生活における支援

参加者：41 名（加盟校 21 名、非加盟校 19 名、その他 1 名）

◆テーマ別研修会「災害時における多角的な障がい者支援～まずはできることから～」（オンライン開催）

日時：2020 年 11 月 12 日（木） 13：00～15：00

会場：Zoom による配信型研修会

内容：様々な災害に備えて、障がいのある学生が（災害発生時に）どのようなサポートを必要とするのか、大学としてどこまで準備・対策が必要なのかを知り、まずは何から始めればよいか考える機会とし、災害発生時における障がいのある避難者受入対応等にも役立てる事を目指す。

また、研修終了後には、災害に有効な AT（支援機器）の紹介も予定、多角的に「災害」について学ぶ契機とする。

①話題提供『立命館大学における障害学生を対象とした個別避難計画作成の取り組みについて』

（講師：立命館大学障害学生支援室支援コーディネーター 酒井春奈氏）

②AT（支援機器）の紹介

（担当：京都大学障害学生支援ルームコーディネーター 村田淳准教授、宮谷祐史氏）

参加者：19 名（加盟校 7 名、非加盟校 12 名）

◆大学における障がい学生支援に関する高校教員との懇談会

日時：2020 年 12 月 4 日（金） 14：00～17：00

会場：キャンパスプラザ京都、及びオンラインによるハイフレックス型懇親会

内容：障がいのある高校生や大学生の支援（入試時の配慮、修学支援、支援体制等）を考えるために、高等学校や大学で見られる具体的な事例について、グループ別の懇談会を行い、高等学校等の教員のみならず大学の教職員にとっても有意義な懇談会となることを目的とする。

①『大学における障がい学生支援と身体障がい学生の支援』

（講師：京都大学障害学生支援ルームコーディネーター 宮谷祐史氏）

②『精神・発達障害のある学生支援について～つなぎ方・支援の事例より～』

(講師：立命館大学障害学生支援室支援コーディネーター 学校心理士 岩井栄一郎氏)
参加者：31 名 (加盟校 10 名、非加盟校 1 名、高等学校教員(特別支援学校含む)20 名)

◆第 26 回関西障がい学生支援担当者懇談会 (KSSK) (オンライン開催)

日時：2021 年 3 月 5 日 (金) 13:00～17:00

会場：Zoom による配信型懇談会

内容：①話題提供：『発達障害のある方に対する就労支援～職場への定着を目的としたアセスメントや支援について～』

(講師：兵庫教育大学 学校教育研究科助教／NPO 法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 池田浩之氏)

②分科会 A：マネジメント

分科会 B：支援コーディネーター基礎編ー

分科会 C：支援コーディネーター応用編ー

分科会 D：キャリア支援 (精神・発達含む)

分科会 E：小規模大学

参加者：47 名 (加盟校 19 名、非加盟校 28 名)

【実施スケジュール (主要事項)】

6 月 25 日 (木)	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会 (第 1 回) (オンライン開催)
7 月 14 日 (火)	障がい学生支援事業企画検討委員会 (第 1 回) (オンライン開催)
8 月 21 日 (金)	ノート・パソコン (PC) テイカー養成講座 (オンライン開催) ーcaptiOnline を使った遠隔 PC テイカー
9 月 4 (金)	第 25 回関西障がい学生支援担当者懇談会 (KSSK) (オンライン開催)
11 月 12 日 (木)	テーマ別研修会 (オンライン開催) 「災害時における多角的な障がい者支援～まずはできることから～」
12 月 4 日 (金)	大学における学生支援に関する懇談会について (高大連携) (対面式とオンラインによるハイフレックス型)
12 月 10 日 (木)	障がい学生支援事業企画検討委員会 (第 2 回)
2021 年 3 月 5 日 (金)	第 26 回関西障がい学生支援担当者懇談会 (KSSK) (オンライン開催)

(4) その他事業

◆当事業部管轄のインカレ団体によるキャンパスプラザ京都の利用について

7/4 に京都学生祭典実行委員会および京都国際学生映画祭実行委員会に対して、以下を要請した。

- ① 団体としての新型コロナウイルス感染症防止策についての文書提出
- ② 来館前の事前申請 (当事業部 Google アカウントに紐づく Google form を用いた事前予約表への入力徹底)

◆各大学における学園祭の開催可否の状況報告・共有会

7/7 に Zoom を活用した Web 会議形式で実施し、13 大学が参加した。なお、開催にあたって各大学の状況について事前アンケートを実施し、当日の会議にて内容を共有した。

【参加大学】

京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都先端科学大学、龍谷大学、京都大学、平安女学院大学、立命館大学、京都文教大学・京都文教短期大学、京都ノートルダム女子大学、明治国際医療大学、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学、京都橘大学、花園大学※（順不同）

※ 花園大学は会議には不参加であるが、アンケートのみ回答。

各種委員会等の開催について

（１）京都学生祭典事業

① 京都学生祭典組織委員会

- 3月13日（金） 主要議題：第17回決算報告、第18回事業方針、事業企画、当初予算ほか
※3月13日（金）の組織委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、参加可能な実行委員はWeb会議システムを通して出席。
- 7月9日（木） 【臨時】主要議題：第18回開催形態、予算
- 9月16日（水） 主要議題：第18回実施方針、補正予算ほか
- 11月25日（水） 主要議題：第18回実施・状況報告、第19回実行委員会発足ほか
- 3月12日（金） 主要議題：第18回決算報告、第19回事業方針、事業企画、当初予算ほか

② 京都学生祭典企画検討委員会

- 1月14日（火） 主要議題：第18回テーマ、第18回プレイベント、広報方針、新歓企画ほか
- 3月11日（水） 主要議題：第18回本祭企画、第18回プレイベント、年間事業報告ほか
※3月11日（水）の企画検討委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、キャンパスプラザ京都での開催を中止とし、メールでの書面会議とした。
- 5月27日（水） 主要議題：第18回本祭開催の方向性検討、事業進捗報告ほか
※Web会議システム（Zoom）を使用
- 7月1日（水） 【臨時】主要議題：専門家のヒアリング結果を踏まえた第18回本祭開催方針・形態
※Web会議システム（Zoom）を使用
- 7月29日（水） 主要議題：第18回本祭企画、事業進捗報告ほか
- 9月11日（土） 主要議題：第18回本祭企画、事業進捗報告、補正予算ほか
- 11月13日（金） 主要議題：第18回実施・状況報告、決算見込み、第19回実行委員会発足、監査人人選ほか
- 1月15日（金） 主要議題：第19回テーマ、プレイベント、広報方針ほか
- 3月3日（水） 主要議題：第18回決算報告、第19回事業方針、事業企画、当初予算ほか

③ 京都学生祭典事務局会議

- 2月13日（木） 主要議題：第17事業報告（正式）、第18回当初予算、各部署実施計画ほか
- 4月16日（木） 主要議題：第18回本祭企画、第18回プレイベント、各部署実施計画ほか
- 5月15日（金） 【臨時】主要議題：第18回本祭実施方針ほか
- 6月18日（木） 主要議題：第18回本祭開催方針、広報・営業方針、企画概要ほか
- 8月20日（木） 主要議題：第18回本祭開催方針、補正予算ほか
- 10月29日（木） 主要議題：第18回実施・状況報告、決算見込み、第19回実行委員会発足ほか

- 12月17日（木） 主要議題：第19回コンセプト、プレイベント、広報方針ほか
 2月18日（木） 主要議題：第18回決算報告、第19回事業方針、事業企画、当初予算ほか

（２）京都国際学生映画祭事業

① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

第1回 7月8日（水）

主要議題：開催形態の判断基準および時期、本祭・授賞式会場、企画検討委員会委員長任命、コンペ応募状況、コンペ体制、一次審査状況、企画案提出 他

第2回 10月22日（木）

主要課題：開催形態の検討、二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出 他

第3回臨時 12月16日（水）

主要議題：開催形態の最終判断

第4回 2021年1月20日（水）

主要課題：最終審査会報告、開催形態の最終判断、オンライン上映 他

第5回 2021年3月17日（水）

主要課題：第23回開催報告、第24回委員会発足、第24回コンペ募集 他

（３）障がい学生支援事業

① 障がい学生支援事業企画検討委員会

第1回 7月14日（火）

主要議題：委員長選出、2020年度障がい学生支援事業、KSSK開催

第2回 12月10日（木）

主要議題：2021年度障がい学生支援事業、テーマ別研修、KSSK開催

② 関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）幹事会

第1回 6月25日（木） 第25回 KSSKの開催について

第2回 10月30日（金） 第26回 KSSKの開催について

(1) 国際連携事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「第5ステージプラン」では、大きな柱の一つとして「オール京都での国際交流推進」を掲げ、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業について

- ① 留学生誘致・支援事業
- ② 学生の海外留学・交流促進事業
- ③ 教職員のグローバル化支援事業

を主な推進施策とするとともに、関連した数値目標・活動指標を設定した。

※①②③ともに、2020年度は新型コロナウイルス感染症による影響が不可避な状況であったことから、具体的な事業実施に関しては社会情勢を踏まえながら慎重に対応した。

①留学生誘致・支援事業

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関など産官学のオール京都による留学生誘致・支援組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、留学生の受入体制の強化、留学生・日本人相互交流の促進を図ってきた。第5ステージプランにおいては、「留学先としての京都」の認知度・ブランド力の更なる向上に向け、観光と連携した「学びのまち」の情報発信など、より効率的・効果的な留学生誘致プロモーション活動等に取り組んでいく。

また、京都で学ぶ留学生に対する交流・日本語学習・就職等の支援として、留学生と市民活動団体等との交流会や留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrowAcademy（京トゥモローアカデミー）」をプラットフォームとした日本語学習支援（スタディグループ等）、企業見学ツアー、他の団体との連携による就職支援、日本人学生と留学生の交流会などを実施するとともに、留学生対象の有給インターンシッププログラムの実施や、留学生向け就職支援情報ポータルサイト、留学生のための住宅情報発信サイトの運営などに取り組んでいく。

（詳細については（2）～（3）を参照）

②学生の海外留学・交流促進事業

2020年度も単位互換を利用した豪州メルボルン（龍谷大学主催）への海外派遣プログラムを引き続き行くとともに、IELTS、TOEFLをはじめとする語学習得支援や「英語で京都をプレゼンテーション」研修を実施し、加盟校学生の留学促進や将来の京都において国際人として活動する意識の活性化を目指していく。

また、加盟校において学生向け海外語学研修が行われている一方で、財団に留学プログラムの開発や広報を期待する意見もあることから、例えば、1～2週間程度の期間で安価、安全かつ質の高い英語

学習環境を提供できる、近場の東南アジアなどをフィールドとした安近短（安全・近場・短期）のプログラム開発等に向けた検討を行っていく。

このほか、教育旅行等で京都を訪問する海外の学生と京都の日本人学生や実際に京都で学ぶ留学生が交流する場の創出について、新たに検討を行っていく。

③教職員のグローバル化支援事業

継続実施している京都の加盟大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図りながら今年度も実施する（計7回実施）とともに、「IELTS pretesting」の対象者を教職員に広げるなど教職員のスキルアップを支援していく。

また、加盟校における教職員の研修方法や留学生対応、海外大学との交流実績等の各校取組事例を共有することを通じた加盟校の国際化に向けた取組支援について、新たに検討を行っていく。

【②③に係る実施スケジュール（主要事項）】

＜オーストラリア（メルボルン）語学研修プログラム留学 ※単位互換〔龍谷大学国際学部主催〕＞

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう、大学コンソーシアム京都とビクトリア大学連携組織との協定に基づくオーストラリアビクトリア州メルボルン（4大学）での留学派遣プログラムを実施。

※後期募集に当たっては、オンラインプログラム（2大学からの選択）となる旨を明示

※特例的に、2020年度についてはオンラインプログラムでも単位認定可（ホスト校の龍谷大学の場合）

4月21日	説明会プレゼンテーション（動画配信：龍谷大学ポータルサイト）
9月10日	説明会プレゼンテーション後期募集 ※2020年度は希望者なし
10月7日	語学研修オリエンテーション【中止】
11月11日	語学研修オリエンテーション①【中止】
12月9日	語学研修オリエンテーション②【中止】
1月27日	語学研修オリエンテーション③【中止】
2月15日	語学研修プログラム（オンライン）開始 【中止】

＜英語で京都をプレゼンテーション＞

海外留学を目指す学生や英語で日本・京都の魅力を発信することに興味がある学生を対象に、日本文化や京都の奥深い魅力を英語で知り理解する機会を提供し、京都や日本の魅力について英語でプレゼンテーションできる能力の向上を図る研修事業を実施。

※2020年度については、原則オンライン講座に変更（②のみ実地体験予定）

5月23日 ～7月4日	当初日程【中止・延期】
10月17日	①icebreak、日本概論、京都概論、伝統文化講義（16名参加） ※参加登録者16名（以下同じ）
10月24日	②伝統文化華道体験、伝統文化茶道体験（15名参加）

10月31日	③伝統文化体験ミニプレゼン（留学生セッション）（15名参加）
11月14日	④京都の名所講義（16名参加）
11月21日	⑤日本・京都の衣食住講義（15名参加）
11月28日	⑥個人英語プレゼンテーション（16名参加）※修了者16名

※修了者のうち希望者には、京都市から「京都PR学生大使」に任命。

※「京都PR学生大使」任命式 12月15日（於：京都市役所）8名出席（修了者16名中希望者15名任命）

<TOEFL iBT テストスキルアップセミナー>

日本人学生の海外留学促進に向けた IELTS や TOEFL など英語試験対策講座を実施。

10月10日	TOEFL iBT テストスキルアップセミナー（100名参加）
--------	---------------------------------

<学生向け IELTS Pretesting 体験会>

日本人学生の海外留学促進に向けた IELTS や TOEFL など英語試験対策講座を実施。

8月28日	学生向け IELTS pretesting 体験会（44名参加）
-------	----------------------------------

<教職員スキルアップ研修>

高等教育の国際化が加速するなか、大学教員・職員の英語運用能力に加え、多様な文化的背景を持つ留学生と円滑な意思疎通を図るための、語学を超えた習慣や社会通念、宗教等への理解も欠かせないものとなっていることから、実務能力の底上げとスキルアップに対する意欲向上を図るため、様々な場面を想定したケーススタディができる英語運用能力向上研修や英語圏以外の文化を学ぶ研修を実施。

※全7回実施（英語研修5回＋多文化理解研修2回）すべてオンライン講座

7月18日【英語】	「大学紹介とキャンパスツアー」（7名参加）	
7月25日【英語】	「遠隔授業に活かせる英語を使った科目の教授法」（5名参加）	
8月1日【多文化】	「中国文化理解研修」（15名参加）	
9月5日【英語】	「大学における異文化理解と英語によるコミュニケーション」（8名参加）	
9月19日【多文化】	「海外留学生受け入れのための異文化コミュニケーション」（14名参加）	
9月26日【英語】	「Email研修（初級）」（12名参加）	
10月3日【英語】	「Email研修（中～上級）」（14名参加）	※計75名

<教職員向け IELTS Pretesting 体験会>

学生からの問い合わせへの対応力を高めるため、英語試験対策講座のうち IELTS については、教職員向けの Pretesting も実施。

11月3日	教職員向け IELTS pretesting 体験会（9名参加）
-------	----------------------------------

<加盟校の国際化に向けた取組事例共有セミナー>

教職員の国際化支援の一環として、大学における様々な国際化の取組に係る事例共有セミナーを実施。

9月8日	「国際系事務職員のためのオンライン茶話会」（13名参加）
------	------------------------------

3月5日	事例共有セミナー「海外留学に向けた取り組みとオンラインによる国際交流の事例共有」（9名参加）
------	--

＜安近短（安心・安価、近場、短期）な語学留学プログラムの開発＞

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう従前から取り組んでいる「オーストラリアメルボルンにおける海外語学研修」に加え、中長期にわたる本格的な海外留学につながるきっかけづくりを促進するため、留学初心者でも参加しやすい安近短な留学プログラムを新たに開発する。

見送り	安近短短期留学 現地調査訪問（マレーシア）
-----	-----------------------

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

2015 年度から京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上を図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営している（2021 年 3 月末、98 機関が加入）。

2020 年度については、下記の事業を実施することとしている。

※2020 年度事業計画、予算については、新型コロナウイルス感染症の影響を加味していないものであり、具体的な事業運営については、社会情勢を踏まえながら慎重に進めた。

1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）

- 京都留学総合ポータルサイトの運営
- 留学生 P R チームの運営【充実】
- 海外教育旅行向け支援メニューの提供
- 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討【充実】
(2017 年度以来となる留学生満足度調査の実施を含む)

2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

- 国内外での京都進学説明会等の開催
- 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
- 会員向けセミナー・交流会の開催

3 留学生受入環境の整備

- 留学生向け有給インターンシップの実施【充実】
- 留学生のための住宅情報サイトの運営
- 留学生向け就職支援事業の連携促進
- 留学生と地域との交流・連携促進
- 留学生支援・交流コミュニティの運営【新規・充実】

【実施スケジュール（主要事項）】

<教育旅行支援>

日本を修学旅行（教育旅行）先として訪れる海外の高校生・大学生ツアーグループ、教職員グループに対し、京都滞在ツアーの一部（1 日・半日）について、京都留学情報の提供や京都の大学・日本語学校・専修学校等を交えた説明会、京都の大学等からの模擬講義、学生交流等のコンテンツをコーディネートする教育旅行支援を実施するもの。

4 月 14 日	米国ヴァージニア州高校生（6 名予定）【中止】 ※京都外国語大学学生との交流、部活見学、キャンパスツアー
----------	---

＜「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討（留学生満足度調査の実施）＞

京都で学ぶ留学生の満足度や友だちへの京都留学の推薦意向、京都に留学するまでのプロセスなどを調査することによって、留学生受入促進に向けた今後対応していくべき課題を把握するため、京都留学生満足度調査を実施している。

2020年度には、2017年度以来となる調査を実施し、この間の各種事業による効果測定と今後対応していくべき課題の把握に努めた。

11～12月末	留学生満足度調査（アンケート調査）実施 ＜回答状況＞ 回答数：634名（有効回答数 594名） （有効回答者内訳） 質問言語別：日本語 254名、英語 110名、簡体字 192名、繁体字 38名 学校種別：大学 209名、大学院 188名、短大 6名、専修学校 44名、日本語学校 147名
1～3月	調査結果分析 （京都留学満足度 73.1%、京都留学推奨意向 71.3%）
4月以降	調査結果情報提供（会員団体）

＜京都留学説明会等＞

加盟校の留学生誘致活動等の支援として、海外で京都に特化した京都留学説明会を開催し、京都の留学先としての知名度向上を目指すとともに、留学生の誘致促進を図った。

9月12～13日	日本留学フェア（インドネシア：オンライン）〔主催：Jeducation〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 相談会 18名（12日9名、13日9名） ※フェア全体参加者数（延べ434人、実人数246人）
10月17日	韓日協会フェア①（韓国：オンライン） ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 8名、相談会 4名
11月7日	オンライン日本留学フェア（香港、マカオ、マレーシア、台湾） 〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 53名 ※フェア全体参加者数（延べ653名）
11月8、14日	オンライン日本留学フェア（香港、マカオ、マレーシア、台湾） 〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 10名（8日6名、14日4名） ※フェア全体参加者数（延べ71名）
11月14日	韓日協会フェア②（韓国：オンライン） ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 1名、相談会 1名
11月17～20日	ベトナム（フエ・ダナン）での京都留学PR ※立命館大学 ASEAN 事務所を通じて、ベトナム（フエ・ダナン）の高校等（高校6校、日本語センター1校）に対する京都留学のPR、ネットワークによる京都留学説明会開催への協力依頼を実施。
11月21日	Experience Japan Exhibition（英国：オンライン）〔主催：慶応義塾大学ほか〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 69名、相談会 2名
11月24日	オンライン留学フェア（中国）〔主催：株式会社GES〕※生中継のみ ※「STUDY KYOTO」ブース Bilibili 8,405人、SINA 14,339人

12月5日	韓日協会フェア③（韓国：オンライン） ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 4名、相談会 0名 ※①②③フェア全体参加者数（説明会：347人、相談会 75人）
2月6、7日	日本留学フェア（タイ：オンライン）〔主催：Jeducation〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 161名 相談会 17名（6日8名、7日9名） ※フェア全体参加者数（延べ394人）
2月21日	オンライン日本留学フェア（香港、マカオ、マレーシア、台湾） 〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 43名
2月21日	日本留学フェア（インドネシア：オンライン）〔主催：Jeducation〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 77名 ※フェア全体参加者数（実人数 380人）
2月28日	オンライン日本留学フェア（香港、マカオ、マレーシア、台湾） 〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 相談会 4名
3月6日	日本留学フェア（インドネシア：オンライン）〔主催：Jeducation〕 ※「STUDY KYOTO」ブース 相談会 13名 ※フェア全体参加者数（延べ192人、実人数 85人）

<延期・中止・見送り分>

5月30～31日 【延期】	韓日協会フェア（韓国：ソウル）＋関係機関訪問 【中止 ⇒ 延期（10～12月でのオンライン開催に変更）】
9月6日 【開催中止】	JASSO フェア（インドネシア：ジャカルタ）＋関係機関訪問
1月17日 【開催中止】	JASSO フェア（マレーシア：クアラルンプール）＋関係機関訪問
見送り	京都留学説明会（タイ：バンコク）
見送り	京都留学説明会（ベトナム：フエ・ダナン） ＋関係機関訪問（ハノイ）
見送り	調査・訪問（台湾：高雄～台中～台北）

<京都及び首都圏の日本語学校への京都留学説明会等>

京都の日本語学校で学ぶ留学生の地域内での進学を促進するため、京都の日本語学校で学ぶ留学生を主たる対象とした京都の大学や専門学校を知る機会の創出等を行った。

また、更なる留学生誘致をより戦略的に進めていくため、関係機関と連携し、首都圏の日本語学校で学ぶ留学生を主な対象に、京都の大学等への進学を促進することを目的とした、京都の大学等説明会、留学生を対象とした京都の学び体験ツアーや日本語学校の教職員向け京都の学び体験ツアー等誘致活動を実施した。※ツアー部分は形を変更して実施した。

〔首都圏の日本語学校をターゲットとした誘致事業〕

【東京の日本語学校における京都進学説明会（オンライン）】

6月12日	メロス言語学院（留学生 120名、教職員 17名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都産業大学、京都精華大学、京都先端科学大学、京都大学、京都ノートル
-------	--

	ルダム女子大学、龍谷大学（8校）
6月24、25日	24日①：京進グループ（留学生33名、教職員5名参加） ※参加学校：京都芸術大学、京都産業大学、京都精華大学、同志社大学、佛教大学、大和学園（6校）
	24日②：京進グループ（留学生61名、教職員9名参加） ※参加学校：京都芸術大学、京都産業大学、京都精華大学、同志社大学、龍谷大学（5校）
	25日①：京進グループ（留学生24名、教職員6名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都先端科学大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、京都芸術デザイン専門学校（5校）
	25日②：京進グループ（留学生35名、教職員7名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都先端科学大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、立命館大学、大和学園（6校）
7月30日	首都圏日本語学校教職員合同（教職員29名参加） ※参加学校：京都先端科学大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、京都府立大学、佛教大学、立命館大学、大和学園、日産京都自動車大学校（8校） ※動画のみ：京都芸術大学、京都精華大学
8月4日	東京ギャラクシー日本語学校（留学生96名、教職員7名参加） ※参加学校：京都産業大学、京都精華大学、京都先端科学大学、京都大学、京都府立大学、立命館大学（6校）
8月27日	カナン国際教育学院（留学生35名、教職員6名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都精華大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学 GC 学部 ※動画のみ：京都産業大学、京都先端科学大学
9月2日	フジ国際語学院（留学生22名、教職員4名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、京都府立大学、同志社大学大学院ビジネス研究科、佛教大学
9月4日	千駄ヶ谷日本語学校（留学生15名、教職員7名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学 GC 学部、佛教大学
10月23日	首都圏日本語学校合同説明会（留学生104名、教職員15名） ※対象学校：ISIグループ、KCP 地球市民、国書日本語学校、新宿日本語学校、東亜学園 ※参加学校：京都芸術大学、京都精華大学、京都先端科学大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、立命館大学、龍谷大学 ※動画のみ：京都外国語大学、京都産業大学
10月28日	ヒューマンアカデミー日本語学校（留学生19名、教職員3名） ※参加学校：京都外国語大学、京都精華大学、京都ノートルダム女子大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学 ※動画のみ：京都産業大学、京都先端科学大学

※計 留学生 564 名、教職員 115 名

【京都の学び体験ツアー（留学生対象）】

7月31～8月2日① 8月27～30日②	①文系・理系ツアー ②芸術系ツアー 【ツアー中止 ⇒ オンラインコンテンツを提供】
-------------------------	--

3月13日	オンライン「文化体験（型友禅）＋先輩留学生座談会」 （文化体験：留学生5人 先輩留学生座談会 留学生10人）
-------	---

【京都の学び交流ツアー（教職員対象）】

12月11日	ツアー形式は見送り → オンライン教職員交流会（1対1面談形式） （首都圏日本語学校教職員9校13名参加、京都の大学・専門学校10校14名参加） 首都圏側：ISI日本語学校グループ、カナン国際教育学院、京進ランゲージアカデミー、千駄ヶ谷日本語学校、東京ギャラクシー日本語学校、東京早稲田外国語学校、日本東京国際学院、フジ国際語学院、メロス言語学院 京 都 側：池坊短期大学、京都外国語大学、京都女子大学、京都精華大学、京都先端科学大学、京都大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、大和学園
--------	---

【京都の日本語学校をターゲットとした誘致事業】

【京都の日本語学校における京都進学合同説明会（オンライン）】

7月25日 8月8日	7月25日： 京都の日本語学校留学生合同 （留学生13名〔京都4名、その他9名〕、教職員1名参加） ※参加学校：京都ノートルダム女子大学、立命館大学、大和学園、日産京都自動車大学校（4校） ※動画のみ：京都外国語大学、京都産業大学、京都先端科学大学、京都大学、京都芸術デザイン専門学校
	8月8日： 京都の日本語学校留学生合同 （留学生11名〔京都5名、その他6名〕、教職員2名参加） ※参加学校：池坊短期大学、京都芸術大学、京都府立大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学（6校） ※動画のみ：京都精華大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学、大和学園、日産京都自動車大学校

< 京都留学生ショートムービーコンテスト2020（動画コンテスト） >

コロナ禍によるオンラインイベントの浸透を背景に、2年ぶりに動画コンテストを実施した。

留学生目線での京都留学の魅力を映像化した作品を募集し、国内で学ぶ留学生や海外の学生に向けたコンテンツとして活用することで、京都への留学生誘致につなげる。

（2017年度、2018年度に実施。3回目）

10月30日	チームエントリー受付開始
1月15日	チームエントリー締切（エントリーチーム数 79チーム）
2月28日	応募作品締切（応募作品数 51作品）
3月上旬	一次審査（→通過作品を動画コンテストサイトに一斉掲載）
3月上旬～中旬	観客賞の一般投票受付（一次審査通過作品 45作品） ※観客賞投票総数（1,176票） 審査員による最終審査

3月19日	オンライン授賞式（審査結果等発表）（参加者 92 名）
-------	-----------------------------

【テーマ】 京都留学の魅力

国内（京都以外）で日本語を学ぶ留学生及び海外在住で留学を考えている学生向けに
「京都に留学・進学したい」と思ってもらえる京都留学の魅力をPRする映像（表現方法は自由）

【審査員】 京都精華大学 教 授 伊奈 新祐 氏

京都芸術大学 教 授 大西 宏志 氏

株式会社シネマズギックス 代表取締役 馬杉 雅喜 氏

【各 賞】 最優秀賞 100,000 円（1 作品）

優 秀 賞 50,000 円（1 作品）

審査員特別賞 20,000 円（3 作品以内）

学 生 賞 10,000 円（1 作品）

観 客 賞 10,000 円（1 作品）

【受賞作品】

最優秀賞	「Full-time father, full-time student」 Eko Heru Prasetyo（京都大学）
優 秀 賞	「手紙～拝啓 京都ちゃんへ」 付 詩画（京進ランゲージアカデミー京都中央校）
審 査 員 特 別 賞 (3 作品)	○「THE BOOK OF MEMORY（京都の思い出の本）」 Nguyen Manh Minh Toan（京都大学） ○「私にとって、京都は「学び」のまちだ。」 金随玟（同志社大学） ○「STUDY IN KYOTO」 NGUYEN NGOC MY（京都工芸繊維大学）
学 生 賞	「猫と京都、夢中の奇遇」 オウセン（京都芸術大学・京都先端科学大学）
観 客 賞	「Full-time father, full-time student」 Eko Heru Prasetyo（京都大学）【重複】

<留学生スタディ京都ネットワーク会員向けセミナー>

先進事例等の把握や会員間の交流促進のため、有識者を招いたセミナー・交流会等を実施した。

4月30日	2019 年度「留学生スタディ京都ネットワーク」情報交換会【中止】
8月20日	外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会（79 名参加） ※対面とオンライン併用
12月17日	「日本留学海外拠点連携推進事業」説明会（53 名参加）※オンライン

<留学生向け有給インターンシップ>【充実】

京都地域の大学等で学ぶ留学生に、京都地域の企業の事業内容を理解する機会を提供するとともに、留学生と企業との相互理解を深め、卒業後の京都における採用促進や就職後の定着を図るため、「有給」によるインターンシッププログラムの提供を行った。

5月13、16日、 19日	ガイダンス【中止 → WEB ガイダンス（オンデマンド）に変更】
6月6日	企業との交流会【オンライン】（留学生 39 名、企業 4 社参加） ※正式エントリー（留学生 42 名、企業 6 社）
7月2日	マッチング決定（留学生 6 名、企業 5 社）

7月8日、11日	事前研修①【オンライン】(8日：6名)
7月中旬	事前研修②【オンライン】(6名) ※委託事業者による個別研修
8月上旬～9月下旬	インターンシップ就業 (5社 6名)
11月7日	事後研修 (6名参加)
11月21日	成果報告会・交流会 (留学生6名、企業5社6名、大学等10名参加)

〔有給インターンシップ過年度修了生追跡アンケート及びオンラインヒアリング〕

- ◆期 間 アンケート：2020年7月～8月 追加ヒアリング：2020年8月～9月
- ◆対 象 者 119名
- ◆回 答 者 30名 (回答率：25.2%) [内訳：社会人14名、学生16名]
- ◆ヒアリング実施者 12名 [内訳：社会人6名、学生6名]
- ◆事 業 効 果
 - ・進路選択の後押し (進路選択への迷い解消)
 - ・7月時点での内定率の高さ (58.3% DISCO社調査31.5%を上回る)
 - ・インターンシップ先とのコンタクト (社会人修了者の50%が関係継続)
 - ・インターンシップ先への就職意欲 (候補の1つとして検討以上62.5%)
- ◆課 題 等
 - ・自己分析、企業理解、SPI対策等への支援
 - ・職場におけるコミュニケーション等への対応 (日本語、上司・同僚付き合い方)
 - ・インターンシップ修了後のフォロー
 - ・就職時の東京・大阪への流出
 - ・修了生同志のネットワーク構築

<就業支援事業連携促進>

京都で学ぶ留学生がスムーズに就職活動を行えるよう、就業支援事業を行う団体が連携を図り事業を実施しており、その一環として、京都の大学等の就職支援担当者を対象に、留学生向け就業支援事業の紹介を行う「留学生対象就業支援事業説明会」を開催した。

7月30日	第1回就業支援担当者会議 (オンライン)
9月18日	大学・学校向け留学生対象就業支援事業説明会 (オンライン) (21名参加)
3月2日	第2回就業支援担当者会議 (オンライン)

<留学生と地域の交流・連携促進>

留学生と留学生の交流を希望する市民活動団体等との交流会を開催し、マッチングの機会を創出するとともに、留学生交流事業担当者会議をベースに、担当者間の情報共有や留学生交流に関する情報の効果的な発信手法の検討など事業連携を促進するもの。

見送り	「留学生と京都をつなぐ交流会」(一名 [申込一名]) 【参加団体】未定
-----	--

<留学生支援・交流コミュニティの運営>【新規】

〔留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」の活動〕

募集活動・オリエンテーション・コミュニティ登録推進活動・加盟校/企業向け事業説明等

3～4 月	加盟校にて事業紹介（京都市ウェルカムパッケージ等）【中止】
7 月 5 日	御室ウォーク（KTA サポートチーム等による視察）【雨天中止】
7 月 27 日	森の京都 主催「手毬寿司づくり体験」企画【中止】
8 月 22 日	水墨画体験（KTA サポートチーム等による体験）〔kokoka 主催〕
8 月 28 日	苔庭づくり体験（KTA サポートチーム等による体験）〔無鄰菴主催〕
10 月 4 日	御室ウォーク（KTA サポートチーム等による体験）〔仁和寺主催〕
10 月 31 日	Kyoto Harvest Fes2020 大田楽（KTA サポートチーム等による体験） 〔NPO 法人 ACT 主催、東寺協力〕
11 月 3 日	Kokoka オープンデイ（KTA サポートチーム等による体験） 〔京都市国際交流協会主催〕
12 月 9 日	亀岡ガイドツアー（KTA サポートチーム等による体験） 〔ふるさと亀岡ガイドの会主催〕
3 月 9 日	京友禅染体験（KTA サポートチーム等による体験） 〔(株) 丸益西村屋主催〕

（その他）

KTA サポートチーム定例ミーティングを開催（月 1～2 回）した。※オンラインで実施

〔企業訪問プログラム Company Visit〕

京都企業について学ぶ機会の少ない留学生に訪問の機会を提供することにより、京都企業の理解と留学生の京都での就職・定着の促進を図った。

10 月 24 日	Company Visit①「ノットワールド」（10 名参加）※オンライン
-----------	---------------------------------------

〔留学生対象就職活動セミナー〕

他の団体と連携した留学生向け就職セミナーを実施した。

10 月 8 日	「留学生向け就職支援オンラインセミナー」（主催：京都市、後援：コンソ京都） （留学生 25 名参加）
12 月 10 日	「留学生向け就職支援オンラインセミナー」（主催：京都市、後援：コンソ京都） （留学生 8 名参加）

〔合同就職説明会〕

他の団体と連携した留学生や企業向け交流会・合同説明会を実施した。

9 月 25 日	外国人留学生と企業との交流会【オンライン】 （主催：京都市・京都高度技術研究所・京都府・京都府国際センター 共催：大学コンソーシアム京都他）（留学生 69 名、企業 11 社参加）
11 月 27 日	留学生対象合同企業説明会【オンライン】（主催：京都市、共催：コンソ京都） （留学生 27 名、企業 5 社参加）
2 月 9 日、10 日	留学生対象合同企業説明会【オンライン】（主催：京都市、共催：コンソ京都） （9 日：留学生 15 名、企業 3 社参加 10 日：留学生 7 人、企業 3 社参加）

〔日本語学習グループ BN2〕

学生サポーターを中心とした日本語スタディグループを開催した。

(BN2 は N2 を超える “beyond N2” の意)

8 月 29 日	日本語勉強会 BN2 ① (11 名参加) ※オンライン
10 月 10 日	日本語勉強会 BN2 ② (10 名参加) ※オンライン
10 月 29 日	日本語勉強会 BN2 ③ (10 名参加) ※オンライン
11 月 14 日	日本語勉強会 BN2 ④ (3 名参加) ※オンライン
11 月 24 日	日本語勉強会 BN2 ⑤ (9 名参加) ※オンライン
12 月 12 日	日本語勉強会 BN2 ⑥ (10 名参加) ※オンライン
12 月 22 日	日本語勉強会 BN2 ⑦ (12 名参加) ※オンライン
1 月 16 日	日本語勉強会 BN2 ⑧ (15 名参加) ※オンライン ※筆ペン習字体験
1 月 30 日	日本語勉強会 BN2 ⑨ (10 名参加) ※オンライン
2 月 13 日	日本語勉強会 BN2 ⑩ (20 名参加) ※オンライン ※宇治茶ソムリエ体験
2 月 18 日	日本語勉強会 BN2 ⑪ (11 名参加) ※オンライン

(その他)

BN2 サポートチーム定例ミーティングを開催 (月 1～2 回) した。※オンラインで実施

〔日本語運用力向上講座〕【新規】

留学生の日本語運用力の更なる向上を目指し、何らかの知識・経験が得られる機会と併せて日本語学習ができるセミナーを企画・開催した。

7 月 4 日	日本語力改善セミナー～はずかしくない日本語を使おう①～ 【オンライン】(全 2 回シリーズ) (留学生 10 名参加) ※場面に応じて丁寧な日本語で対応できるよう「書く・話す・読む」等の実践練習を通じて学ぶ。(事前面談・事前課題・宿題あり)
7 月 18 日	日本語力改善セミナー～はずかしくない日本語を使おう②～ 【オンライン】(全 2 回シリーズ) (留学生 8 名参加)

＜留学生スタディ京都ネットワーク関連会議（総会・運営委員会・各ワーキング）＞

4 月 30 日	2020 年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会・情報交換会 【中止 → 総会のみ書面会議で実施】
8 月 5 日	2020 年度第 1 回 留学生満足度向上ワーキンググループ
8 月 21 日	2020 年度第 1 回 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会
12 月 25 日	2020 年度第 1 回 合同ワーキンググループ 〔留学生誘致プロモーション、留学生満足度向上〕
1 月 29 日	2020 年度第 2 回 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会
3 月 4 日	2020 年度第 2 回 合同ワーキンググループ 〔留学生誘致プロモーション、留学生満足度向上〕
3 月 26 日	2020 年度第 3 回 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

(3) 留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団が「京都地域留学生住宅支援機構（以下、「支援機構」という）」の事務局を担い、委員会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務（通年）を行ってきた。しかしながら近年各学校において、賃貸保証会社を利用する動きが盛んになり、本事業が極めて限られた学校でのみ利用されている状態になっていた。こうした動きを踏まえ、2017 年度に本事業利用大学等によるワーキングを設置し、本事業の将来的な廃止も視野に入れた検討を行い、2018 年 4 月の委員会において、2018 年度末での新規入会停止及び現在会員の留学生は 2019 年度以降も会員資格を継続すること等を確認した。（継続会員へのサービスのみ実施中）

国際事業部 各種委員会等の開催について

(1) 国際連携事業

① 国際連携事業運営委員会

12 月 25 日 第一回会議

3 月 26 日 第二回会議

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

8 月 21 日 第一回会議

1 月 29 日 第二回会議

3 月 26 日 第三回会議

② 留学生誘致プロモーションワーキンググループ

12 月 25 日 第一回会議 ※合同ワーキングとして

3 月 4 日 第二回会議 ※合同ワーキングとして

③ 留学生満足度向上ワーキンググループ

8 月 5 日 第一回会議

12 月 25 日 第二回会議 ※合同ワーキングとして

3 月 4 日 第三回会議 ※合同ワーキングとして

(3) 留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

2020 年度開催なし

(1) 調査企画事業

【事業計画の概要および実績】

第5ステージ（2019-2023年）の2年目にあたる2020年度は引き続き、事業の効果検証と効率的な事業運営を図りながら、プランに掲げた数値目標等の達成を目指した取組を推進する。

広報事業においては、加盟校のプロモーションに資する取組として、京都学生広報部の活動の定着化とより一層の活性化を図る。専用サイト「コトカレ」における京都のPR記事の配信を積極的に行い、活動の指標となるコトカレPV数（閲覧件数）の年間100万PVの達成に向けて取り組む。また、学生広報部員と中高生・企業等とのタイアップ事業の実施など、情報波及力を高める事業にも積極的に取り組むとともに、京都の大学生のための公式アプリ「KYO-DENT」の配信をととして、大学生同士のつながりや学びの深化に向けた取組も進める。

都市政策事業、地域連携事業については、事業開始から15年以上が経過し、一定、加盟校への事業の浸透と取組の定着化がみられてきた。第5ステージでは、これまでの取組実績やノウハウをより一層広めるため、2019年4月に開設した、大学・地域連携ポータルサイト「がくまちステーション」などを活用し、取組の活性化と裾野の拡大に取り組む。

1 財団指定調査課題

調査事業企画検討委員会において、各年度の指定調査課題の進行管理やテーマ設定等の検討を行い、第5ステージプランに掲げた施策を推進する。

(1) 2020年度の調査課題（2件）

ア 京都の大学における国際化の現状を踏まえた京都地域の留学生誘致活動の底上げに関する方策
（担当：国際事業部）

【研究代表者】 立命館大学 経済学部事務室課員 橋本 規孝

イ データ解析から紐解く大学コンソーシアム京都加盟校が京都地域で果たしている役割の現状と今後の方向性（担当：調査広報事業部）

【研究代表者】 京都産業大学 現代社会学部教授 金光 淳

(2) 2021年度の調査課題（1件）

ア 大学のまち・京都のコア・バリューの再探究：単位互換の未来が拓かれるために
（担当：教育事業部）

【研究代表者】 立命館大学共通教育推進機構 教授 山口 洋典

(3) 調査研究費について

1件あたり150万円（上限額）

(4) スケジュール

ア 2020年度の調査課題 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2箇年

2020年4月	調査研究開始
9月23日	第1回調査事業企画検討委員会
12月15日	第2回調査事業企画検討委員会
2021年3月 2日	選定委員会・中間報告会
2022年3月末	調査研究成果報告書提出

イ 2021年度の調査課題

2021年1月14日	募集開始
2月 9日	募集締切
3月 2日	選定委員会
3月10日	財団運営委員会にて決定
4月	調査研究開始

2 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016 年度から全事業（協働事業を除く）で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。
2016 年度から 2019 年度の 3 年間のデータを集約して公表中。

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
データ提供事業数	44	38	40	40

3 中期計画の策定と運用

(1) 第 5 ステージプラン（計画期間：2019-2023 年度）

財団では 5 年ごとに、財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としている。「第 4 ステージプラン（2014～2018 年度）」の 4 年目にあたる 2017 年度に大学政策委員会（委員長：松岡 同志社大学学長）を設置。同プランの検証を行い、最終年度の 2018 年度に、次期ステージプラン策定部会を設置し、具体的な検討を行った。大学政策委員会において、2019 年度以降に財団が取り組むべき事業方針等を取りまとめ、2019 年 1 月 26 日開催の理事会に「第 5 ステージプラン」を答申。2019 年 3 月に策定した。2019 年度からは年に一度、一般向けの事業進捗報告会を開催。

第 5 ステージプランの概要

計画期間	2019-2023 年度（5 年間）
ビジョン	だれもが学び、つながる京都へ ～地域とともに個性と特色を活かした多様な学びの展開～
事業推進方針	① 加盟校ニーズ・期待に応える事業運営 ② 大学と地域との連携推進 ③ 交流・プラットフォーム機能の強化 ④ 「大学のまち京都」のブランド力向上 ⑤ 高等教育を取り巻く環境の変化に対応する、先進的で独自性のある事業展開

施策の柱と 主な新規事業	柱 1 大学間連携による学びの提供と充実 ・加盟校等におけるリカレント教育の実践促進 ・学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシッププログラムの促進 柱 2 大学教職員の能力開発と交流機会の充実 ・階層別研修・プログラムの実施（SD・FD 事業） ・高校教員対象の障害のある学生の受け入れに関する懇談会の開催 柱 3 大学の枠を超えた学生間の交流・活動支援 ・インカレ活動の活性化に向けた取組 柱 4 オール京都での国際交流推進 ・留学生や海外からの訪問学生との交流プログラムの実施 ・加盟校の国際化に向けた取組事例の共有 柱 5 大学・学生・地域社会との連携による京都地域の発展と活性化 ・大学地域連携ウェブサイトの開設 ・京都から発信する政策研究交流大会の政策提言の活用 柱 6 高等教育の環境変化に対応する組織運営 ・高等教育の動向調査 ・財団事業の影響分析
-----------------	--

(2) 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。2017 年度から、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議（通称：推進会議）において、2019 年度から 2023 年度までの推進計画の具体的な検討を行い、2019 年 3 月に策定した。当財団の次期中期計画とも密接に連携しながら取組を推進する。

2021 年 3 月 25 日 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議の開催

4 京都 B & S プログラム

京都観光推進協議会（事務局：京都市観光 MICE 推進室）、J T B との協働事業で、2014 年度から実施。京都に来る修学旅行生（中高生）を対象に、学生ボランティア（有償）がガイド役となって京都を案内する。その過程で、市内の大学構内へ立ち寄り、将来の進学意欲の喚起や大学生との触れ合いを通じ「大学のまち京都」の魅力を発信する。学生ボランティアの確保に課題があり、財団のインカレ団体や広報媒体を通じた、情報発信などにより、登録者の確保に協力している。

【受入実績】

2016 年度：23 校（3,064 名）

2017 年度：30 校（3,399 名）

2018 年度：29 校（3,848 名）

2019 年度：21 校（2,166 名）

2020 年度：1 校（51 名） 3 月 31 日時点

(2) 広報事業

【事業計画の概要及び実績】

第5ステージでは、情報収集・発信機能の強化を掲げ、加盟校に有益な情報について組織的に対応し、情報の収集・発信を行う。広報事業として、京都学生広報部の活動充実などに取り組み、専用サイト「コトカレ」の年間100万PV達成を目指す。

- ①財団ウェブサイトとSNS等による財団事業の発信機能強化
- ②京都学生広報部の専用ウェブサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化
- ③学生広報部と中高生、企業とのタイアップ事業の展開

1 財団ウェブサイト・SNSの運用

アクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図る。

2 会報等の発行

(1) 財団 Information (財団紹介パンフレット)

毎年6月に更新。2020年7月28日 発行(年1回)

(2) 会報誌

2021年2月に会報52号を発行(14ページ)

(3) その他

京都駅「京都プレミアム vision」における映像の放映

コロナ禍にある学生や市民へエールを送ることを目的に、(株)JR西日本コミュニケーションズと有志の学生(京都学生広報部6名、留学生PRチーム2名)が応援映像を作成し、JR京都駅中央口にある京都プレミアム visionへ放映。

7月16日 プロジェクトチーム顔合わせ

8月上旬 企画会議(2回)

9月上旬 映像完成

9月24日 プレスリリース

10月1日 放映開始(1箇月間)

3 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を京都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指して2015年9月に創部。同年10月に専用ウェブサイト「コトカレ」を開設した。

京都市及び運営支援を委託する日本ディレクション協会・クリエイター育成協会と協働で学生部員への支援を行う。具体的には将来大学生となる中高生にとって魅力あるコンテンツを制作することで中高生の読者の増加を目指し、また、中高生との交流事業等に取り組む。また、全国から多くの修学旅行生が訪れる利点を活かし、京都B&Sプログラムとの連動企画など、幅広い広報展開によってステークホルダーや京都地域全体のPRにつなげる。

(1) 概要

ア 開設年度：2015年9月 ※京都市との協働事業

イ 部員数：88名(14大学：2021年3月現在)

大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数
京都大学	5	同志社大学	32
京都工芸繊維大学	2	同志社女子大学	3
福知山公立大学	1	立命館大学	14
京都産業大学	6	京都精華大学	2
京都女子大学	17	京都薬科大学	1
花園大学	1	佛教大学	1
平安女学院大学	2	龍谷大学	1

ウ 公開記事数及びページビュー数（閲覧数）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020*
公開記事件数	105 件	66 件	131 件	165 件	133 件	161 件
ページビュー数	75, 210	159, 969	423, 579	678, 031	660, 468	619, 236

※3 月末時点

エ 月間ページビュー数(閲覧数)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2017	16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	60,484
2018	66,110	56,409	45,710	43,608	48,846	69,302	53,783	84,633	44,971	42,332	51,277	65,080
2019	47,510	52,300	48,498	48,059	45,628	50,955	47,228	73,084	43,663	55,911	62,493	85,139
2020	53,884	52,477	44,239	40,479	51,268	47,639	44,291	40,946	40,594	48,898	52,475	10,2046

(2) 主な事業

ア 研修事業

広報部員のスキルアップを目的とした研修を実施。

①研修会 1「ミーティング術について」参加者 15 名。

講師：伊藤圭之氏（京都市役所 SDG s・市民協働推進担当 / 市民協働ファシリテーター）

日時：2020 年 12 月 8 日（火）16：00～

②研修会 2「広報について」参加者 9 名。

講師：京都市総合企画局市長公室広報担当

（公財）大学コンソーシアム京都 教育事業部 主幹 安部明雄

日時：2021 年 1 月 13 日（水）14：00～

イ 中高生・企業等との協働事業

① 吉本興業とのコラボ企画

主に大学生をターゲットとし、よしもと祇園花月を舞台にイベントを開催。企画段階から学生が参画する。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策を目的とした、ソーシャルディスタンスなどの実践を楽しみながら日常生活に取り入れる取組などを企画。具体的には、京都学生広報部員が描いた「アマビエ」のイラストをよしもと祇園花月へ掲示する取組の他、よしもと祇園花月を「祇園会館という歴史的建築物」として取り上げ、フリーペーパーにて、昭和から令和へと時

代の移り変わりと変容してきた大学生の生活を発信。

② 市内高等学校への訪問企画

部員が高校へ赴き京都の大学の魅力を伝える機会をもつ。京都の大学への進学に興味関心をもってもらうために、「学生生活」や「受験勉強」などの悩みに答える内容で動画を作成予定。新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から訪問は当面見合わせ。

③ 北野天満宮とコラボ企画（2021年1月実施）

京都の大学へ進学を希望する全国の受験生を対象に、コロナ禍で京都への参拝がかなわない彼らにかわって京都学生広報部が全国天満宮の総本社である北野天満宮に願い事を奉納する企画。作成した大絵馬に応募者の願い事を添え、1月15日に北野天満宮に奉納。

奉納した大絵馬と願い事は、2月13日（土）から4月上旬まで北野天満宮絵馬所に展示中。

④ 京都市北部山間地域の取材

京都市文化市民局地域自治推進室からの依頼で北部山間地域に移住してスローライフを楽しむ学生、若者を取材。9本の記事を公開するとともに、三条ラジオカフェにてラジオ番組「京の田舎暮らしだより」に出演。

ウ 部員募集等

例年年度当初に研修会と合わせた大規模な部員募集説明会を実施しているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により SNS やオンラインのみで募集。

4月13日には Instagram のライブ機能を使用して説明会を開催し、64名が視聴。2020年度の入部者数は11月現在で9名。

4 「大学のまち京都 学生のまち京都」公式アプリ「KYO-DENT」の開発

京都市との協働事業。京都でしか味わえない学生生活を実現するための様々な取組や、学生向けの各種情報を学生に直接かつ確実に届けるとともに、学生のニーズなどを把握し、学生を対象とする取組の改善や新たな事業創設の基盤につなげるためのアプリを2020年3月から配信開始。

(1) 趣旨・目的

- ① 京都でしか味わえない学生生活の実現
- ② 京都の魅力を感じた学生の就職を含めた地域への定着
- ③ 京都での学生生活のブランド化による新たな学生の獲得

(2) 主な機能

- ① 「みんなの掲示板 機能」学生同士が学業や学生生活について自由に情報交換し、交流する機能。
- ② 「マイ京都・学びの履歴 機能」手帳や家計簿等により、学生生活を記録・可視化する機能。インターンシップやボランティアなどに参加した実績を「学びの履歴」として記録し、編集も可能。
- ③ 「京めばえ 機能」アプリの利用に応じてポイントを獲得できる機能。
- ④ 「お得！情報の発信 機能」キャンパス文化パートナーズ制度や学割等の学生向けサービスを展開している店舗等の情報をマップ上やカテゴリ別に配信する機能。
- ⑤ 「京のコト 機能（学生向け情報配信）」学生向けニュースを配信する機能。

(3) 推進体制

京都市と財団が事務局を務め、京都経営者協会、(公財)京都高度技術研究所、京都学生広報部、京都学生祭典実行委員会で構成される「京都ならではの学び・魅力向上」協議会が事業の企画・運営、予算管理等を行う。なお、アプリの機能やデザイン等は、同協議会の下に設置した学生プロジェクトチームにおいて検討された。

9月8日 2020年度第1回協議会開催(オンライン)

(4) ダウンロード数の推移 (2020.3.26～)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019												367
	349	576	489	435	831	1103	1386	1331	679	504	826	1285

累計ダウンロード数：10161件 (2021.3.31時点)

(3) 都市政策研究推進事業

【事業計画の概要および実績】

1 京都から発信する政策研究交流大会

加盟校の学生が、日頃の研究や学習成果の発表の場として互いに交流を深め、都市政策に活かすことを目的に2005年度から開催。

大会は、加盟校の政策系学部の教員で構成する「都市政策研究推進委員会」が中心となり、企画・審査のほか、学生実行委員会の活動への助言等を行っている。

(1) 実施スケジュール

5月15日	第1回都市政策研究推進委員会
6月12日	第1回大会検討チーム会議
7月3日	エントリー開始
7月23日	応募者向け説明会(動画配信)
8月7日	エントリー締切
8月28日	論文提出開始
9月18日	第2回都市政策研究推進委員会
10月31日	論文提出締切
11月13日	第2回大会検討チーム会議
11月27日	発表者向け説明会(Zoom)
12月11日	第3回都市政策研究推進委員会
12月20日	第16回京都から発信する政策研究交流大会(オンライン)
2021年	
2月4日	奨励賞受賞者報告会(行政機関向け)(オンライン)
2月12日	第4回都市政策研究推進委員会

(2) 学生実行委員会

加盟校の学生により構成。主に平日の夜間（週 1 回）に活動し、大会広報チラシや SNS による PR 活動、大会当日の学生企画やワークショップの企画・運営などを担当。

2020 年度 学生実行委員（5 名）

大学・短期大学名	人数	大学・短期大学名	人数
立命館大学	2	京都美術工芸大学	1
京都府立大学	1	福知山公立大学	1

(3) 2020 年度（第 16 回大会）の応募状況

- ア 日程 2020 年 12 月 20 日（日）10 時 00 分～16 時 30 分
- イ 会場 キャンパスプラザ京都からオンライン配信
- ウ 発表者数

	エントリー	応募者	発表者数
学部生	84	75	56

エ 研究奨励賞受賞者一覧

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
大学コンソーシアム京都理事長賞	口頭 1 位	再エネを基軸とした地域内循環と地場産業 ー政所地域の茶工場存続問題を題材にー	団体	深尾ゼミナール政所 PJ	龍谷大学
日本公共政策学会賞	論文	医師偏在の影響と課題 ーパネルデータ分析による接近ー	団体	龍谷大学経済学部 渡邊正英ゼミ チーム コードブルー	龍谷大学
優秀賞	口頭 発表	“TAMBA ツーリズム”による森の京都の活性化政策-丹波ワインをキーコンテンツとして-	団体	同志社大学 田中宏 樹ゼミ 京都府チーム	同志社大学
		貧困家庭の児童への低栄養対策 ーすこやか宅食「TSUNAGU」の導入ー	団体	同志社大学政策学部 風間ゼミナール フード パントリー班	同志社大学
		社会的インパクト投資ー地域導入における可能性ー持続可能な地域モデルの構築と普及のためにー	団体	深尾ゼミナール社会的 投資班	龍谷大学
		『ユーモア』でテレワークを効果的に ー日本企業のテレワークの弱点を中心にー	団体	龍谷大学 政策学部 中森ゼミナール	龍谷大学
		社会的企業に対する支援政策の一考察 ー京都市の政策を中心にー	団体	深尾ゼミナール 2 回 生チーム	龍谷大学
		鴨川の大氾濫時におけるソフト面の防災強化	団体	真山ゼミ 1 班	同志社大学
		京都弁で輝く商店街	団体	同志社大学政策学部 野田ゼミ A 班	同志社大学
		獣害から考える持続可能な地域	団体	龍谷大学政策学部 今里ゼミナール	龍谷大学

(4) 大学別発表件数

大学名	第 16 回 (2020)	第 15 回 (2019)		第 14 回 (2018)		第 13 回 (2017)	
	口頭	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル
京都大学	0	(1)	0	(1)	0	2 (1)	0
京都府立大学	2	8 (1)	1	3 (1)	1	3	1
福知山公立大学	10	2	5	1	2	1	0
京都産業大学	15	13	3	7	1	13	3
京都女子大学	1	0	0	0	0	1	0
京都橘大学	1	3	0	3	0	2	1
京都文教大学	1	1	0	1	0	2	0
同志社大学	12	12	2	10	5	6	4
佛教大学	3	9	3	8	2	9	3
立命館大学	1	8	2	12 (2)	5	8 (1)	3
龍谷大学	10	11	0	9	1	9	1
計	56	68 (2)	16	55 (4)	17	56 (2)	16 (0)

※ () 内は大学院生の数

(3) 来場者数の推移 (第 16 回は視聴者数)

第 16 回	第 15 回	第 14 回	第 13 回	第 12 回	第 11 回	第 10 回	第 9 回
433	507	392	352	423	451	377	362
第 8 回	第 7 回	第 6 回	第 5 回	第 4 回	第 3 回	第 2 回	第 1 回
317	410	545	524	420	632	149	238

※発表者、一般聴講者 (学生実行委員、職員、審査員は除く。) の合計

(4) 地域連携事業

【事業計画の概要および実績】

京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携して実施している。

1 大学地域連携創造・支援事業 (愛称: 学まちコラボ事業)

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

2020 年度は、引き続き、「文化枠」「一般枠」の公募を開始したものの、新型コロナウイルス感染症蔓延の状況を鑑み、募集を中止した。2021 年度に向けては、感染防止対策を講じて実施予定。

(1) スケジュール

2020 年

4 月 1 日～5 月 29 日	募集期間 (当初予定)
4 月 28 日	2020 年度募集中止
6 月 21 日	公開プレゼンテーション審査会 (中止)
7 月上旬	認定式・取組スタート (中止)
2 月 2 日	第 1 回企画・選考委員会 (2021 年度学まちコラボ事業検討)
3 月 5 日	第 2 回委員会

(2) 2019 年度応募状況（参考）

申請件数：23 事業（一般枠：20 事業、文化枠：3 事業）

採択団体：14 事業（一般枠：12 事業、文化枠：2 事業）

2 大学×地域連携ポータルサイト「がくまちステーション GAKUMACHI STATION」

財団ではこれまで、大学・学生・地域と連携した活動を支援し、学生の学びと成長、地域の活性化を図ることを目的に、サークルや学生グループによるまちづくり活動を支援する「学まちコラボ事業」や、大学を挙げた地域連携の取組を支援する「学まち連携大学」促進事業の実施のほか、都市にかかわる課題について学生が調査・研究した成果を政策提案する「京都から発信する政策研究交流大会」の開催、加盟校における地域連携の取組紹介ページ「まちづくり事例集」の作成など、多様な地域連携事業に取り組んできた。2019 年 4 月には、こうした地域連携にかかわる幅広い情報やノウハウを網羅したポータルサイトを開設し、大学・学生と地域との連携活動の活性化を図るべく運用を開始。引き続き、サイトの充実を図る。（まちづくり事例集を本サイトに再編）

(1) 掲載事業

ア 学まちコラボ事業

2018 年度の活動実績を中心に 2017 年度以前の報告集を掲載。

2019 年度から SDGs アイコンによる検索機能を追加。

イ 「学まち連携大学」促進事業

2016 年度から取組を進める 6 大学*の取組を紹介。

※大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学

ウ 京都から発信する政策研究交流大会

優秀賞受賞者の発表論文及び発表データ、推進委員（教員）へのインタビュー記事を掲載。

エ 加盟校における地域連携活動の取組

上記ア～ウの取組以外の加盟校独自の大学・学生・地域連携の活動を紹介。

2019 年度から SDGs アイコンによる検索機能を追加。

(2) スペシャルコンテンツ

地域連携活動やまちづくりの分野などのトップランナーのインタビュー記事などを随時更新。

(3) 検索機能

京都府下の市町村、大学名、取組分野のキーワードで取組が検索可能。

2019 年度から SDGs アイコンによる検索機能を追加。

3 「学まち連携大学」促進事業

地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学の組織的な取組として定着させることを目的に、2016 年度から地域と連携した実践的な教育プログラムの開発・実施に取り組む大学に補助金を交付し、取組を支援してきた。

2020 年度からは全学的に地域連携に取り組む大学の裾野の一層の拡大を図るため、新たに対象となる取組を増やして募集を行なった。

(1) スケジュール

4月21日～6月12日	募集期間
6月26日	選定委員会
7月14日	採択結果通知
7月28日	広報発表
8月7日	認定式

(2) 支援スキーム

	スタートアップ型	発展型
対象大学	加盟大学のうち、2016年度学まち連携大学促進事業及びCOC、COC+に採択された大学（参加大学を除く）以外の大学・短期大学	加盟大学のうち、2016年度学まち連携大学促進事業の採択大学等、全学的に地域連携を促進している大学・短期大学
支援金	1年目：200万円、2年目：160万円、3年目：120万円、4年目：100万円 (4年間最大580万円)	1年目：300万円、2年目：240万円、3年目：190万円、4年目：150万円 (4年間最大880万円)

※〈参考〉2016年度学まち連携大学促進事業採択大学

大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学

(3) 2020年度採択結果

① 申請件数：5件（スタートアップ型：2件、発展型：3件）

採択件数：4件（スタートアップ型：2件、発展型：2件）

②採択大学及び採択事業

▼スタートアップ型

大学名	申請事業名
京都光華女子大学・ 京都光華女子短期大学部	京で学び・京で働き・京に暮らす ～地域連携型プログラムの展開～
花園大学	利他の精神に基づいた地域連携教育プログラムの推進事業

▼発展型

大学名	申請事業名
京都橘大学	山科・醍醐地域で「変化を楽しむ」地域連携型教育プログラム
龍谷大学	伏見をフィールドにした地域連携型教育プログラムの展開 - まちぐるみキャンパス（学び合いのコミュニティ）の深化 -

(4) 認定式

- ・日 時：2020年8月7日（金）15：00～（1時間程度）
- ・場 所：京都市役所 分庁舎4階 オープンスペース
- ・出席予定者：採択大学の学長

4 大学・地域連携サミット

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催。（2020年度は開催なし）

各種委員会等の開催について

（1）調査企画事業

① 調査事業企画検討委員会

9月23日	第1回委員会（今年度の進め方・次年度の方向性）
11月下旬	第2回委員会（指定調査課題中間報告・次年度テーマ決定・共通指標）
3月2日	指定調査課題選定委員会・2020年度中間報告会

② 大学のまち京都・学生のまち京都 推進会議

3月25日	大学のまち京都・学生のまち京都 推進会議
-------	----------------------

（2）都市政策研究推進事業

① 都市政策研究推進委員会

5月15日	第1回委員会
6月12日	第1回交流大会検討チーム会議
9月18日	第2回委員会
11月13日	第2回交流大会検討チーム会議
12月11日	第3回委員会
12月20日	第16回京都から発信する政策研究交流大会
2月12日	第4回委員会

（3）地域連携事業

① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）企画・選考委員会

2月2日	第1回委員会（2021年度の事業募集等について）
3月5日	第2回委員会

② 「学まち連携大学」促進事業選定委員会

6月26日	「学まち連携大学」促進事業 選定委員会
-------	---------------------

総務部 事業進捗

(1) 総務業務（法人運営・庶務）

【事業計画の概要および実績】

<概要>

◆法人運営

(1) 機関会議

法人の意思決定を行うため、運営委員会、理事会、評議員会を行い、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催している。（日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照）

(2) 大学のまち・京都 サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とするとともに、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、8月に加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催する。

<実績>

8月22日（土）

サマーミーティング

○出席者

<大学コンソーシアム京都>

評議員会、理事会及び運営委員会を構成する大学の学長（代理の場合は副学長）、専務理事・事務局長

<京都市>

市長、副市長、総合企画局長、大学政策部長

○議題

「大学における新型コロナウイルス感染症への対応について」

(2) 財務・経理業務

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。

<実績>

5月29日（金）

2019（令和元）年度決算監査

(3) 研修業務

【事業計画の概要および実績】

<概要>

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。本年度は総務部が主体となり、以下の研修を実施する予定である。また、各事業部の理解、連携を深めるため、事業部業務説明会を実施し、研修体制の充実を図る。

<実績>

4月1日(水)	4月新規出向者・採用者向けオリエンテーション
5月18日(月)	総合防災訓練【延期】
5月20日(水)	事業部業務説明会(教育事業部、学生支援事業部、総務部) 【動画撮影・視聴に変更】
6月16日(火)	6月新規出向者向けオリエンテーション
6月17日(水)	事業部業務説明会(教育開発事業部、国際事業部、調査・広報事業部) 【動画撮影・視聴に変更】
7月2日(木)～8月29日(土)	ハラスメント研修【オンライン研修講座を受講】
8月5日(水)	ハラスメント防止規程に基づく業務の説明会(ハラスメント相談員、及び役職者対象)
8月26日(水)～28日(金)	SPOD フォーラム 2020(高知大学)【中止】
9月5日(土)～6日(日)	大学行政管理学会・研究集会(神戸学院大学)【中止】
12月7日(月)	財団冬季研修(総合防災訓練)【取り止め】
3月17日(水)	2020(令和2)年度業務成果報告会(出向満了予定者)

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催している。

○第17回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)【中止】

日時: 2020(令和2)年9月12日(土) 13:00～、9月13日(日) 9:30～

会場: 関西大学(大阪府吹田市)

テーマ: (全体テーマ) 大学コンソーシアムの再考と再興

～大学の大変革時代に大学コンソーシアムが切り開く可能性とは～

<実績>

4月21日(火)	2019(令和元)年度 監査報告(監事)
5月9日(土)	第1回 運営委員会(主要議題: 決算・予算・事業計画等) ※Web 会議
9月1日(火)	協議会総会(主要議題: 決算・予算等) ※書面会議
9月12日(土)	第2回 運営委員会(主要議題: 第18回 フォーラム進捗) ※Web 会議
2月20日(土)	第3回 運営委員会(主要議題: 第18回、第19回 フォーラムについて)

(5) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行っている。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付している。

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

7月17日（金） 通常総会・理事会 ※書面会議

1月22日（金） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）※書面会議

2月24日（水） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式

(6) 施設管理事業（指定管理）

【事業計画の概要および実績】

<概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として2019年度から4年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行うこととなった。引き続き、施設運営に必要な委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行っていく。

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

4月13日（月）	保守点検日	10月19日（月）	保守点検日
4月27日（月）	保守点検日	11月9日（月）	保守点検日
5月11日（月）	保守点検日	11月30日（月）	保守点検日
5月25日（月）	保守点検日	12月14日（月）	保守点検日
6月8日（月）	保守点検日	12月21日（月）	保守点検日
6月22日（月）	保守点検日	1月18日（月）	保守点検日
7月13日（月）	保守点検日	1月25日（月）	保守点検日
7月27日（月）	保守点検日	2月8日（月）	保守点検日
8月3日（月）	保守点検日	2月15日（月）	保守点検日
8月24日（月）	保守点検日	2月22日（月）	保守点検日
9月14日（月）	保守点検日	3月8日（月）	保守点検日
9月28日（月）	保守点検日	3月22日（月）	保守点検日
10月5日（月）	保守点検日	3月29日（月）	保守点検日
10月19日（月）	保守点検日		

各種委員会等の開催について

(1) 総務業務(法人運営)

① 評議員会

- 5月19日(火) 第1回(主要議題:評議員の選任について)※書面会議
6月27日(土) 第2回(主要議題:2019(令和元)年度事業報告及び決算について 他)
9月24日(木) 第3回(主要議題:理事の辞任・選任について)※書面会議
3月13日(土) 第4回(主要議題:2021(令和3)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業計画及び予算について 他)

② 理事会

- 4月30日(木) 第1回(主要議題:運営委員の選任について 他)※書面会議
6月4日(木) 第2回(主要議題:2019(令和元)年度事業報告及び決算について 他)※書面会議
6月27日(土) 第3回(主要議題:理事長、副理事長・専務理事の選任について 他)
9月17日(木) 第4回(主要議題:運営委員の選任について)※書面会議
10月1日(木) 第5回(主要議題:理事長の選任について)※書面会議
11月18日(水) 第6回(主要議題:運営委員の選任について)※書面会議
1月23日(土) 第7回(主要議題:2020(令和2)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補
正予算について 他)※Web 会議
3月13日(土) 第8回(主要議題:2021(令和3)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事
業計画及び予算について 他)

③ 会員総会

- 6月27日(土) 報告事項1 2019(令和元)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業報告及び決算について【中止】※書面により報告

④ 運営委員会

- 4月9日(木) 第1回(主要議題:2020年度 第1回理事会(書面開催)の議題について 他)
※書面会議
5月20日(水) 第2回(主要議題:2019(令和元)年度事業報告及び決算について 他)
※書面会議
6月10日(水) 第3回(主要議題:第3回理事会開催について 他)※Web 会議
7月8日(水) 第4回(主要議題:運営委員長及び副運営委員長の選出 他)※Web 会議
9月9日(水) 第5回(主要議題:第4回理事会(書面会議)の開催について 他)
10月14日(水) 第6回(主要議題:新型コロナウイルス感染症対応に係る国への要望について 他)
※Web 会議
11月11日(水) 第7回(主要議題:第6回理事会開催について 他)

- 12月 9日（水） 第8回（主要議題：副運営委員長の選任について 他）
- 1月 13日（水） 第9回（主要議題：2020（令和2）年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他）
- 2月 10日（水） 第10回（主要議題：副運営委員長の選任について 他）
- 3月 10日（水） 第11回（主要議題：2021（令和3）年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他）

（2）財務・経理業務

専門委員会等なし

（3）研修業務

専門委員会等なし

（4）全国大学コンソーシアム協議会事業

① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 5月 9日（土） 第1回（主要議題：決算・予算・事業計画等）※Web会議
- 9月 1日（火） 協議会総会（主要議題：決算・予算等） ※書面会議
- 9月 12日（土） 第2回 運営委員会（主要議題：第18回 フォーラム進捗）※Web会議
- 2月 20日（土） 第3回 運営委員会（主要議題：第18回、第19回 フォーラムについて）

（5）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

- 7月 17日（金） 第1回 理事会・総会（主要議題：事業・決算報告 他）※書面会議
- 2月 3日（水） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）※書面会議
- 2月 24日（水） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式